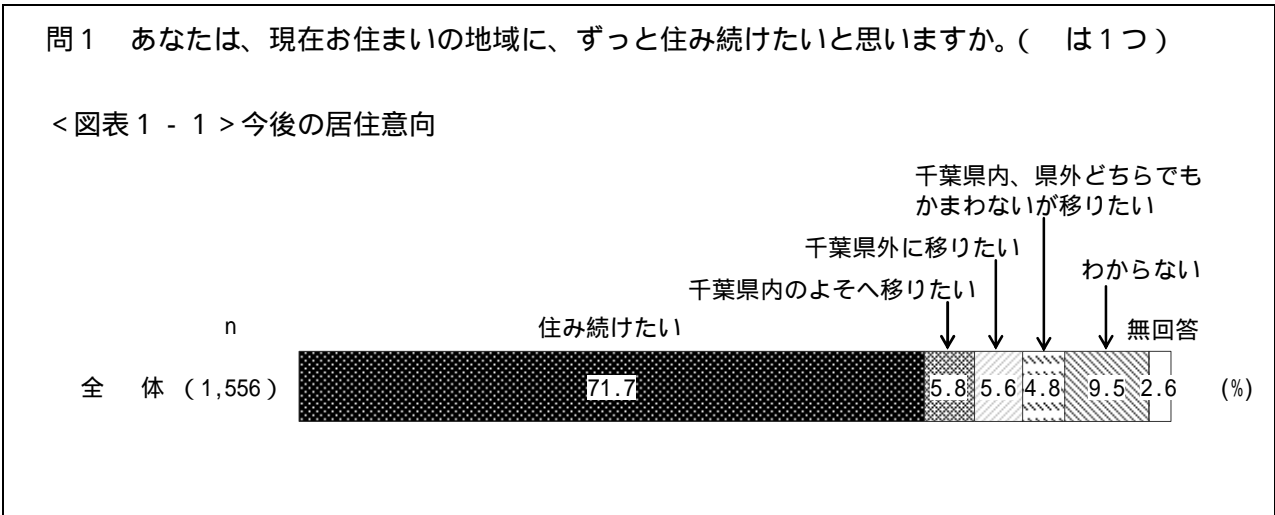


1 環境と生活について

(1) 今後の居留意向

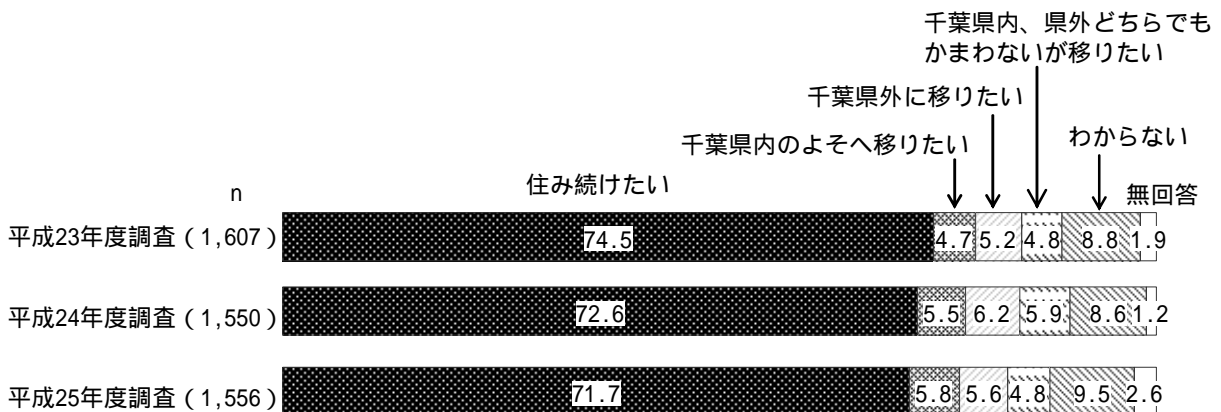
「住み続けたい」が7割を超える



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(71.7%)は7割を超えている。一方、「千葉県外に移りたい」は5.6%となっている。また、「住み続けたい」と「千葉県内のよそへ移りたい」(5.8%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(77.5%)は約8割となっている。

(図表1 - 1)

【参考】平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



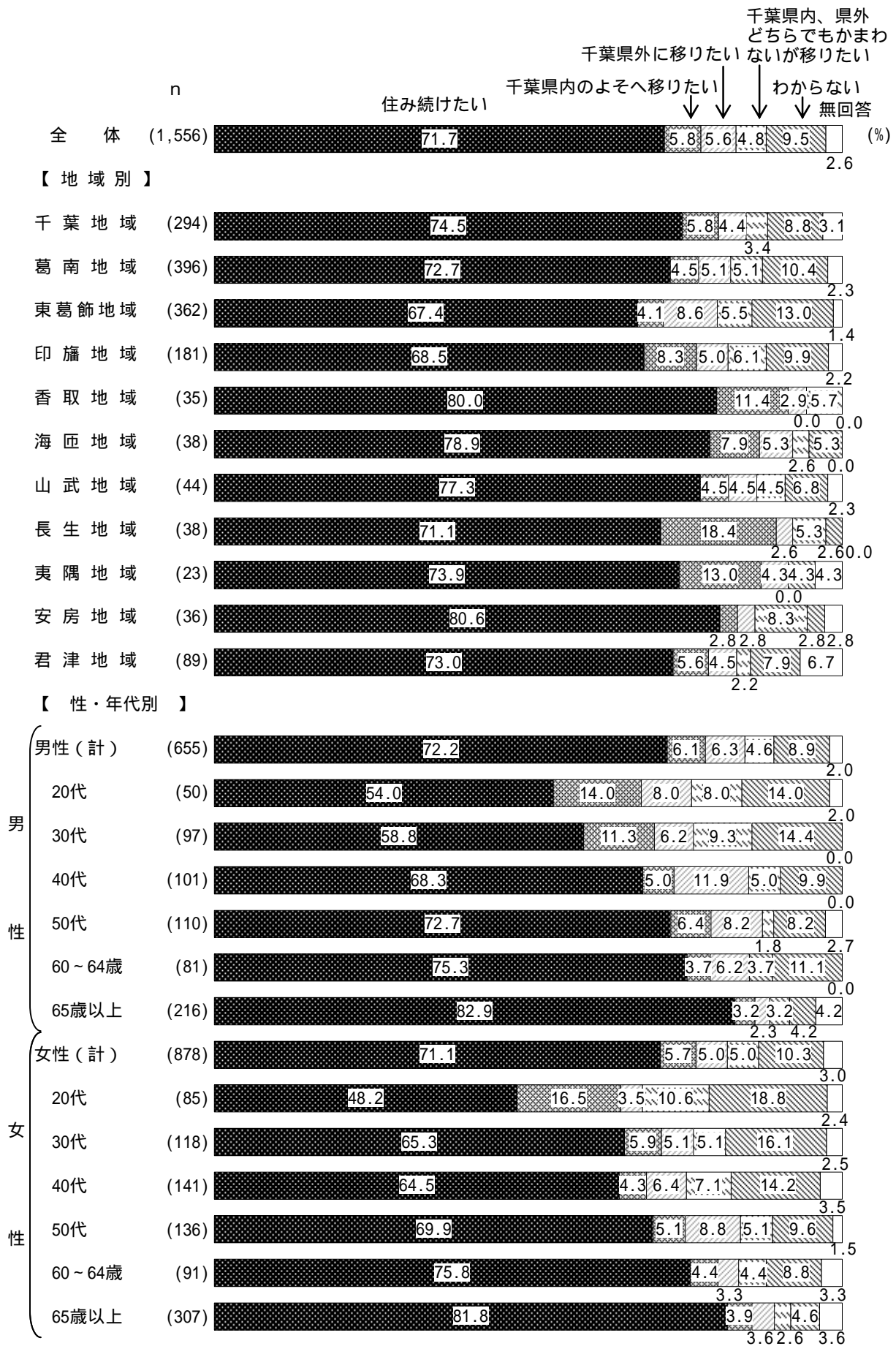
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“安房地域”(80.6%)、“香取地域”(80.0%)が8割と最も高く、“海匝地域”(78.9%)、“山武地域”(77.3%)が約8割となっている。(図表1 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(82.9%)と女性の65歳以上(81.8%)が8割を超えて、他の年代に比べ多くなっている。(図表1 - 2)

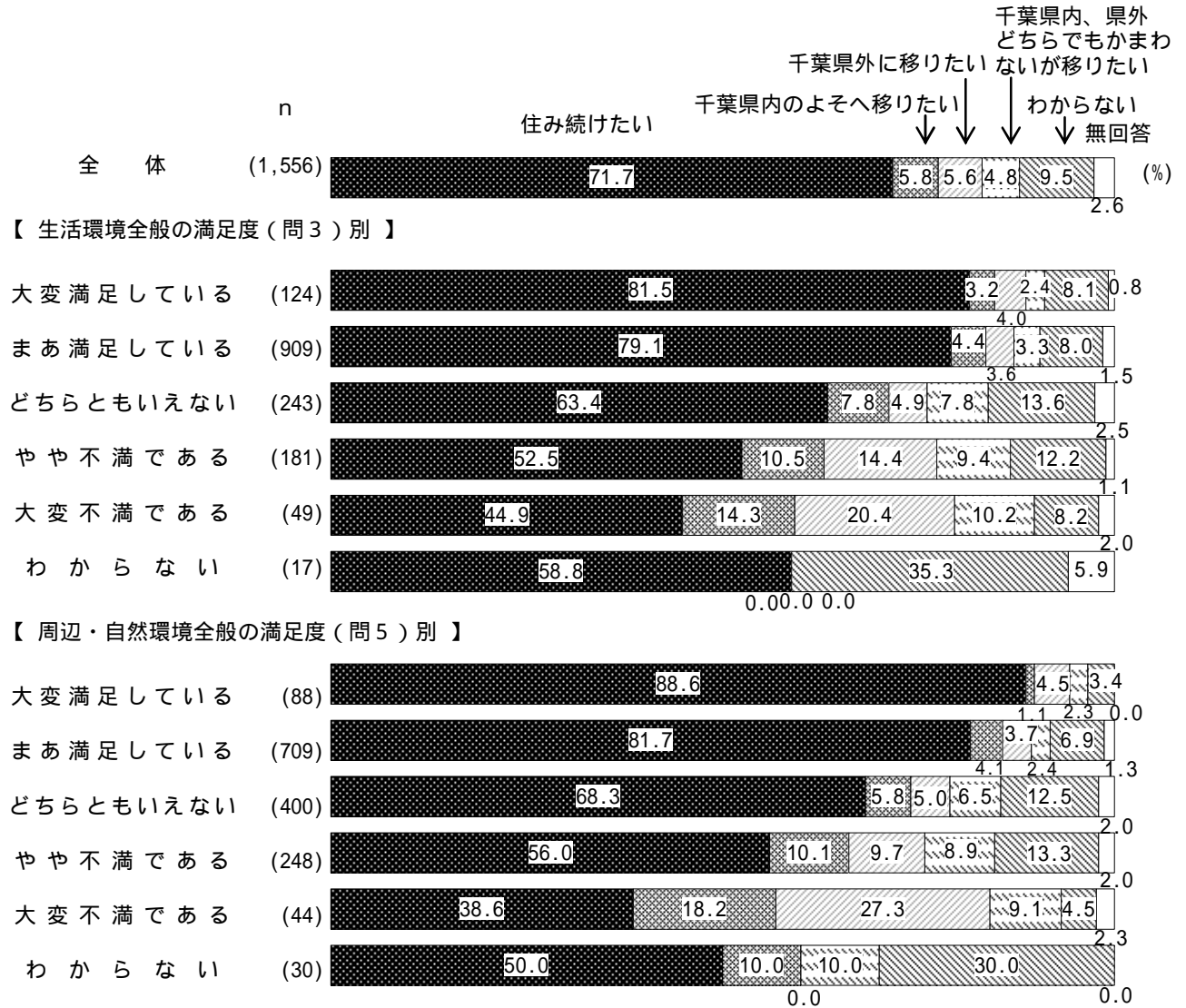
<図表1 - 2> 今後の居住意向 / 地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「周辺・自然環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、周辺・自然環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3> 今後の居留意向と各環境の満足度



(1 - 1) 住み続けたい理由

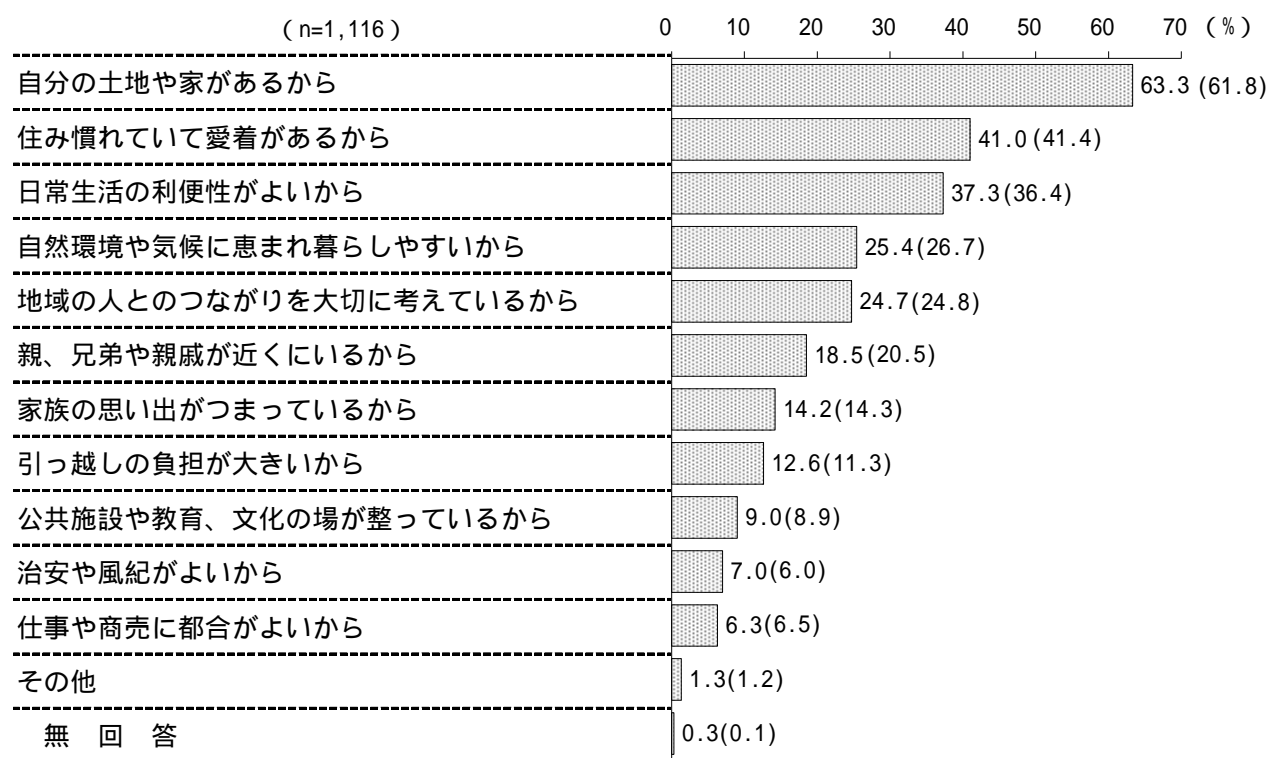
「自分の土地や家があるから」が6割台半ば

(問 1 で「住み続けたい」とお答えの方に)

問 1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(は3つまで)

< 図表 1 - 4 > 住み続けたい理由 (複数回答)



注) () の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,125

「住み続けたい」と回答した1,116人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(63.3%)が6割台半ばと最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(41.0%)、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」(37.3%)が続く。(図表1-4)

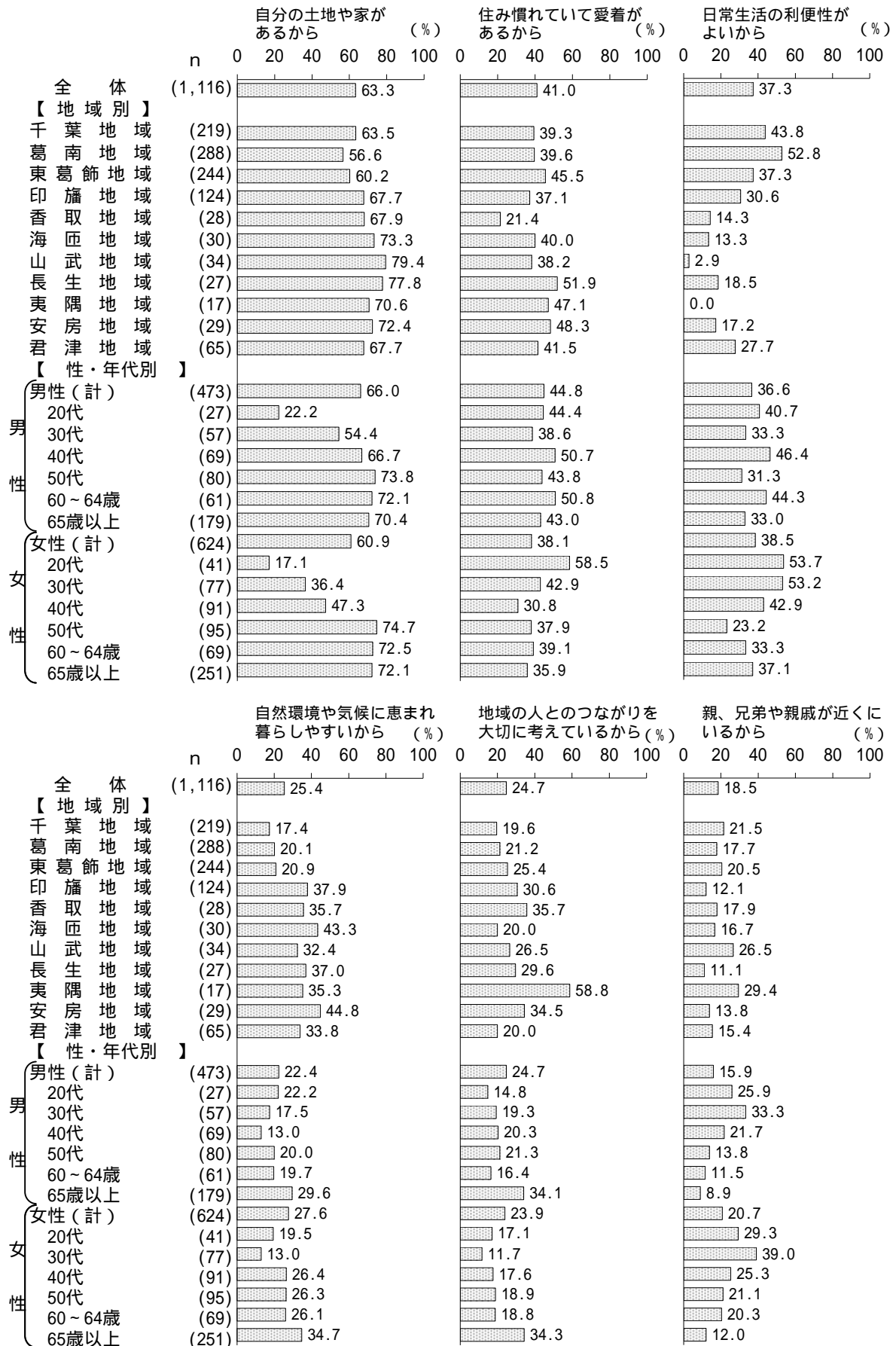
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“山武地域”(79.4%)が約8割で他の地域に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は“長生地域”(51.9%)が5割を超え、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(52.8%)が5割を超えている。(図表1-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は女性の50代(74.7%)・60~64歳(72.5%)・65歳以上(72.1%)、男性の50代(73.8%)・60~64歳(72.1%)・65歳以上(70.4%)が7割以上で他の年代に比べて高くなっている。(図表1-5)

<図表1 - 5> 住みたい理由 / 地域別、性・年代別（上位6項目）



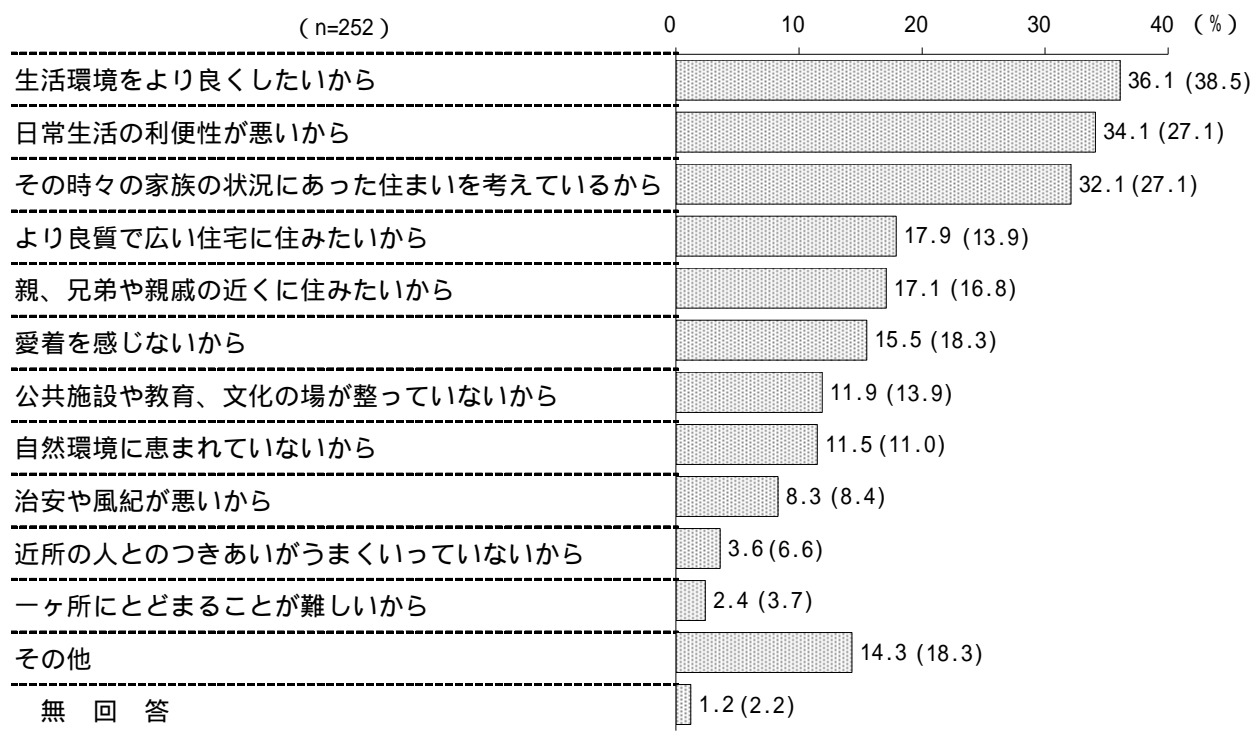
(1 - 2) 移りたい理由

「生活環境をより良くしたいから」が3割台半ば

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな
い移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(は3つまで)

<図表1 - 6>移りたい理由(複数回答)



注)()の数字は平成24年度の同様の項目による調査結果 n = 273

「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわな
い移りたい」と回答した252人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境を
より良くしたいから」(36.1%)が3割台半ばと最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など、
日常生活の利便性が悪いから」(34.1%)「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」
(32.1%)が続く。(図表1 - 6)

【地域別】

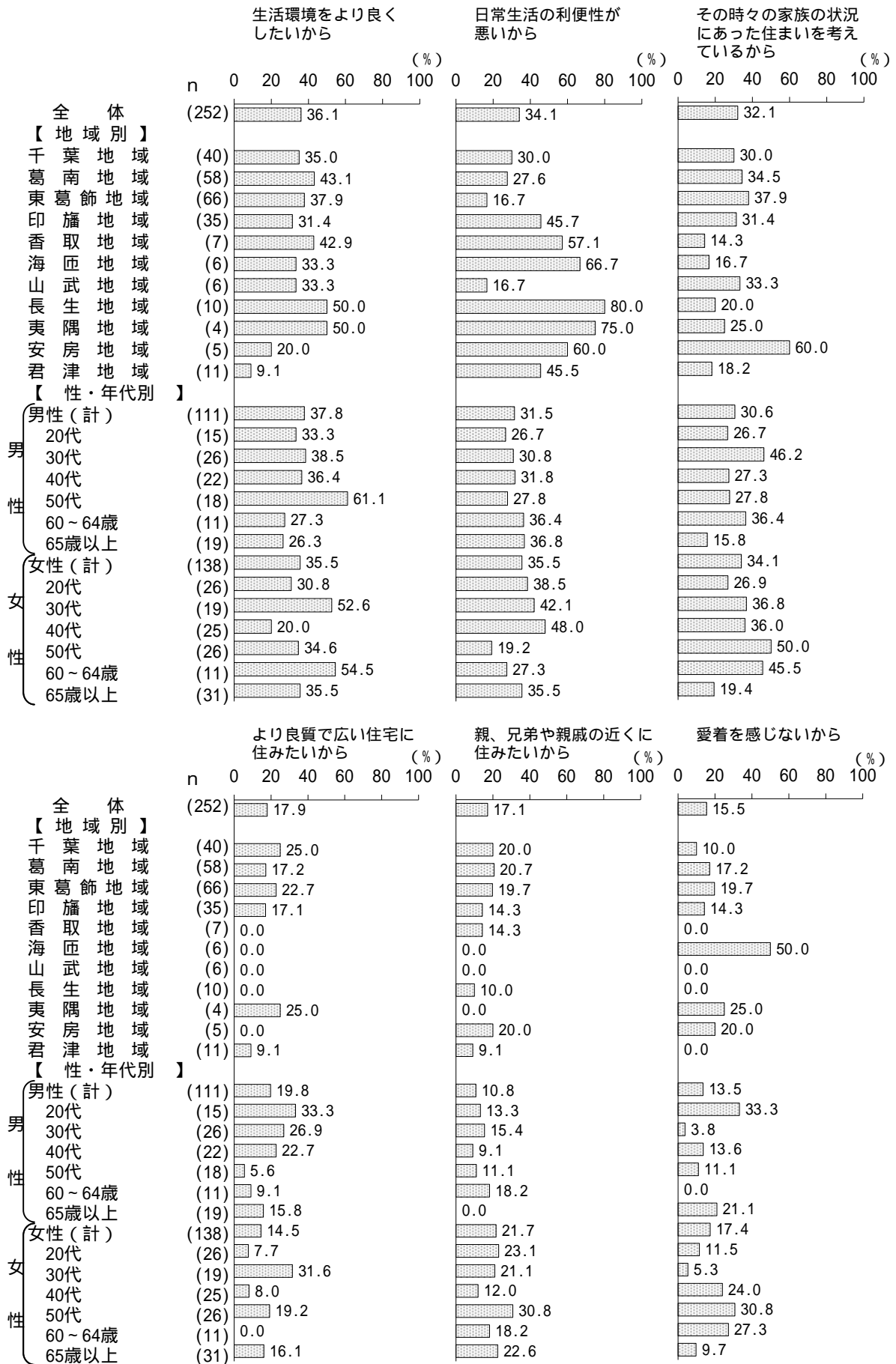
地域別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は「長生地域」「夷隅地域」(共に50.0%)で
5割と高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」では、「長
生地域」(80.0%)が8割、「夷隅地域」(75.0%)が7割台半ばと高くなっている。「その時々家族
の状況にあった住まいを考えているから」は、「安房地域」(60.0%)が6割と高くなっている。

(図表1 - 7)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は男性の50代(61.1%)が6割を超えて
他の年代に比べて高くなっている。(図表1 - 7)

<図表1 - 7> 移りたい理由 / 地域別、性・年代別 (上位6項目)



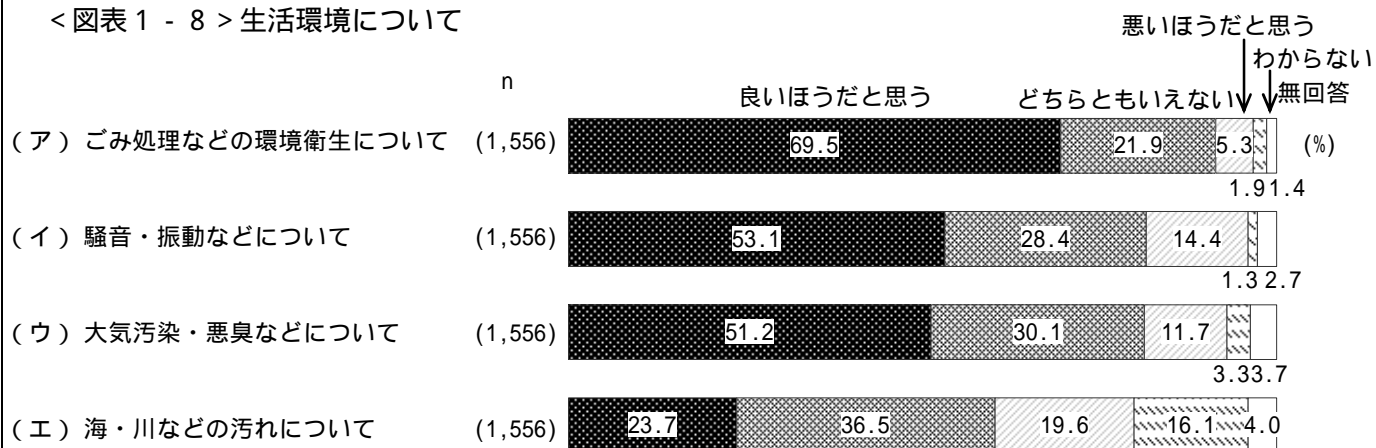
(2) 生活環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは ごみ処理などの環境衛生について で約7割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(はそれぞれ1つずつ)

<図表1-8>生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、ごみ処理などの環境衛生について（69.5%）で約7割となっている。以下、騒音・振動などについて（53.1%）が5割台半ば、大気汚染・悪臭などについて（51.2%）が5割を超えている。一方、海・川などの汚れについては、「良いほうだと思う」（23.7%）と「悪いほうだと思う」（19.6%）の差は大きくない。（図表1-8）

【地域別】

地域別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は“葛南地域”（75.8%）、「印旛地域”（74.0%）、「千葉地域”（73.1%）が7割台半ばとなっている。騒音・振動などについては、“安房地域”（72.2%）が7割を超え、大気汚染・悪臭などについても、“安房地域”（75.0%）が7割台半ば、海・川などの汚れについても、“安房地域”（52.8%）が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。（図表1-9）

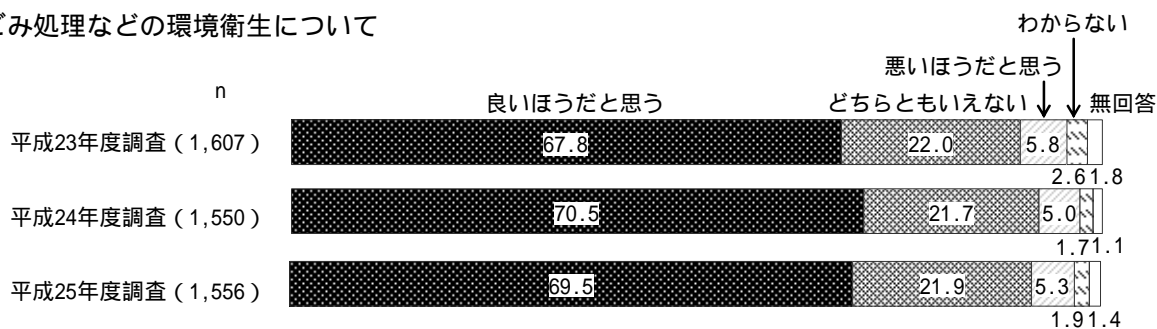
【性・年代別】

性・年代別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳（79.0%）、「女性の65歳以上」（78.8%）が約8割となっている。騒音・振動などについては、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳（59.3%）と女性の60～64歳（57.1%）が約6割となっている。

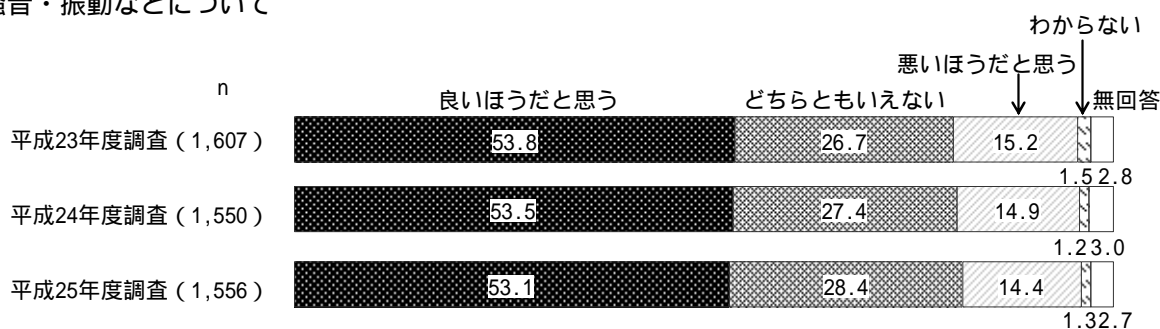
海・川などの汚れについてにおいて、「悪いほうだと思う」は男性の20代（38.0%）が約4割、女性の20代（34.1%）が3割台半ばとなっている。（図表1-9）

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

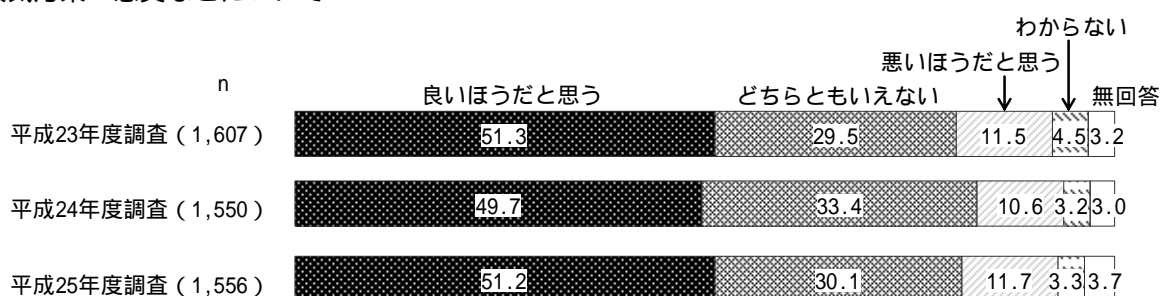
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



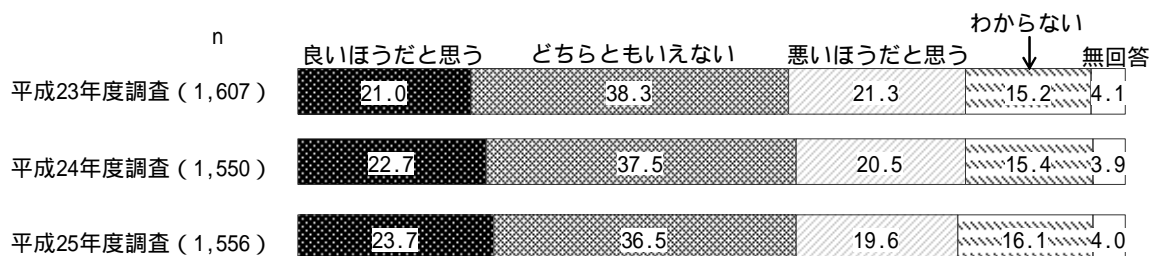
（イ）騒音・振動などについて



（ウ）大気汚染・悪臭などについて

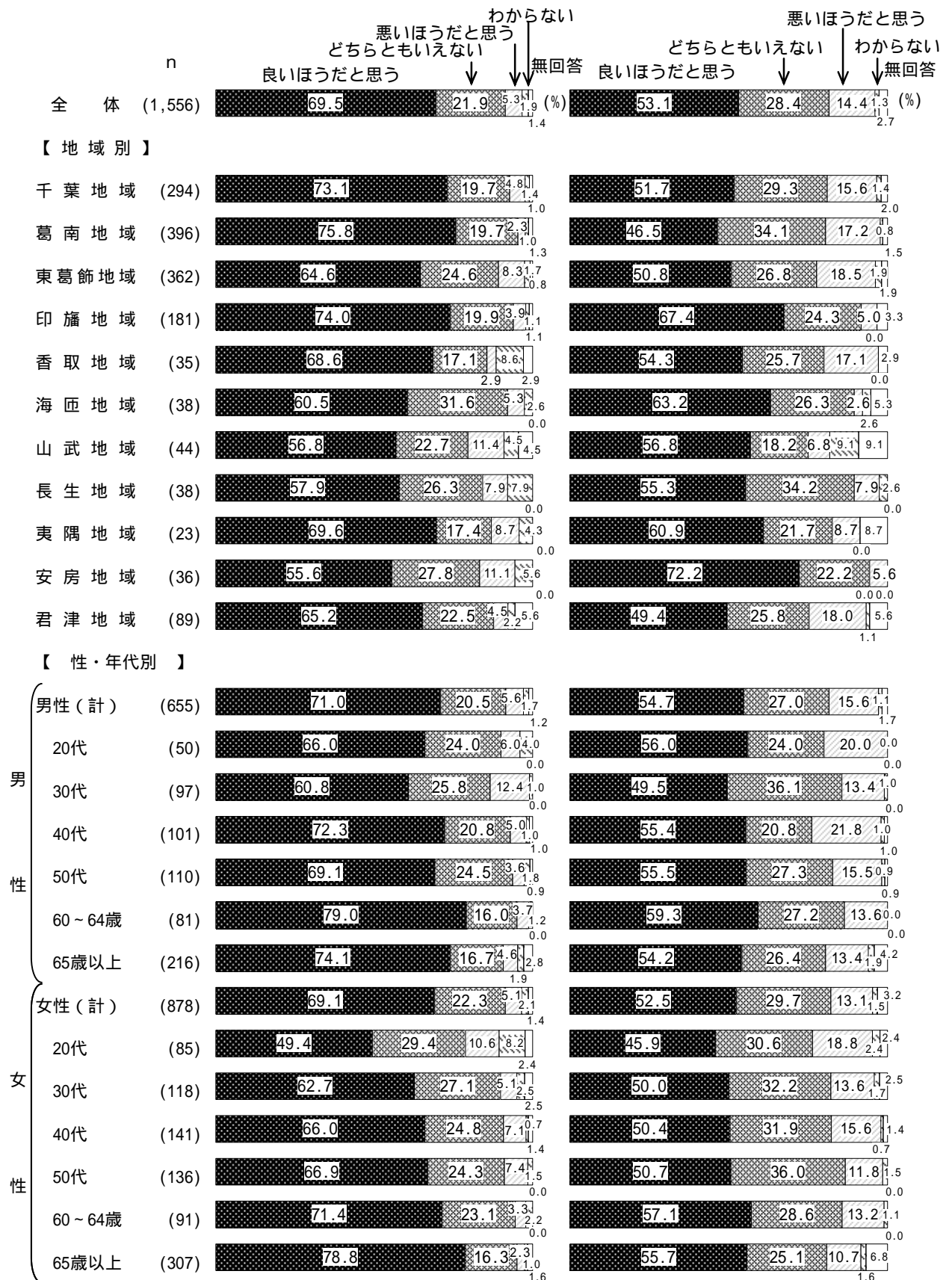


（エ）海・川などの汚れについて



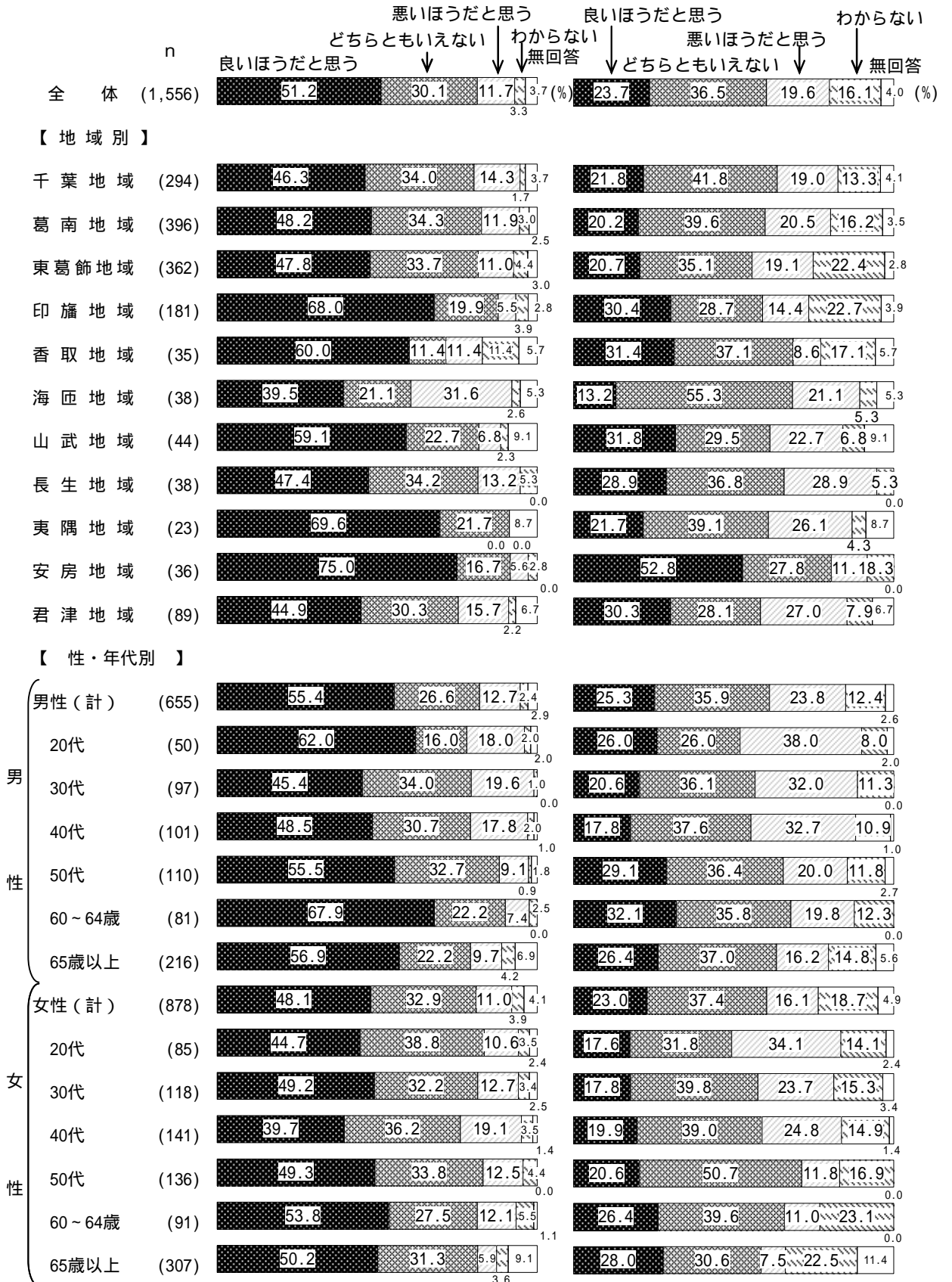
<図表1-9> 生活環境について / 地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

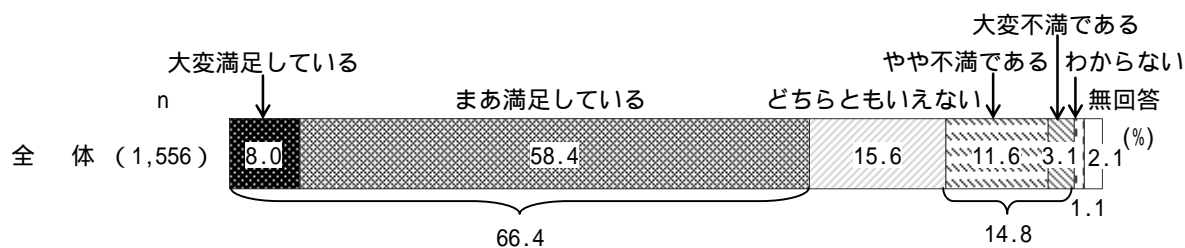


(3) 生活環境全般の満足度

『満足している』は6割台半ば

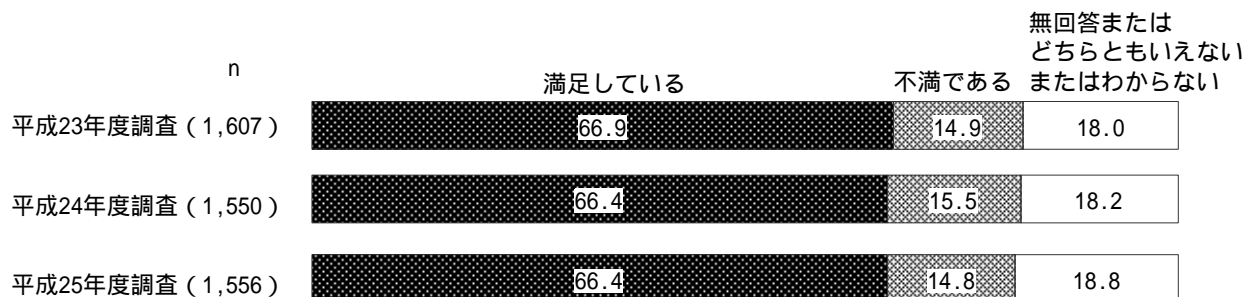
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。
(は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(8.0%)と「まあ満足している」(58.4%)を合わせた『満足している』(66.4%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(11.6%)と「大変不満である」(3.1%)を合わせた『不満である』(14.8%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



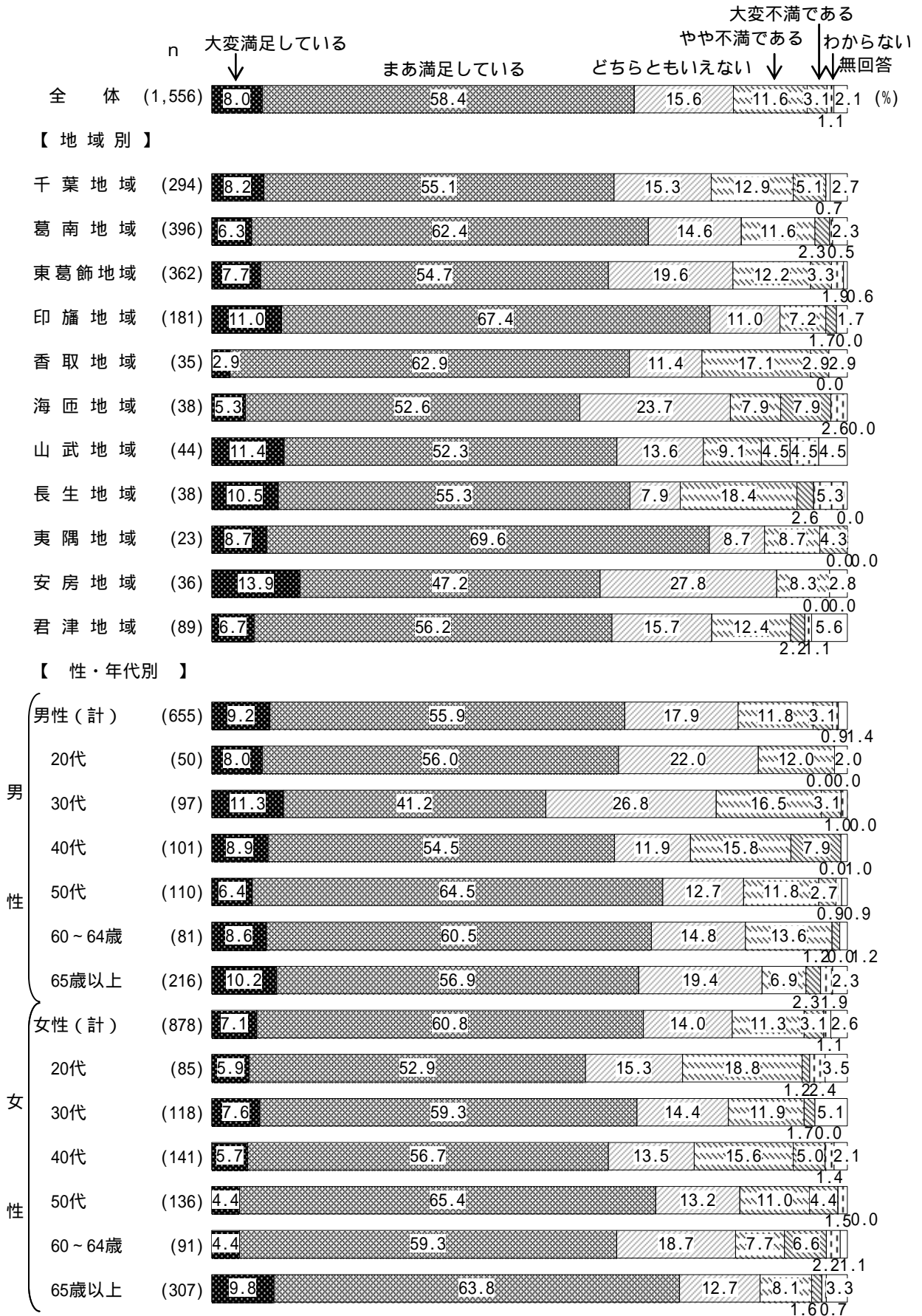
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“印旛地域”(78.5%)、“夷隅地域”(78.3%)が約8割と高くなっている一方、“海匝地域”(57.9%)で約6割に留まっている。(図表1-11)

【性・年代別】

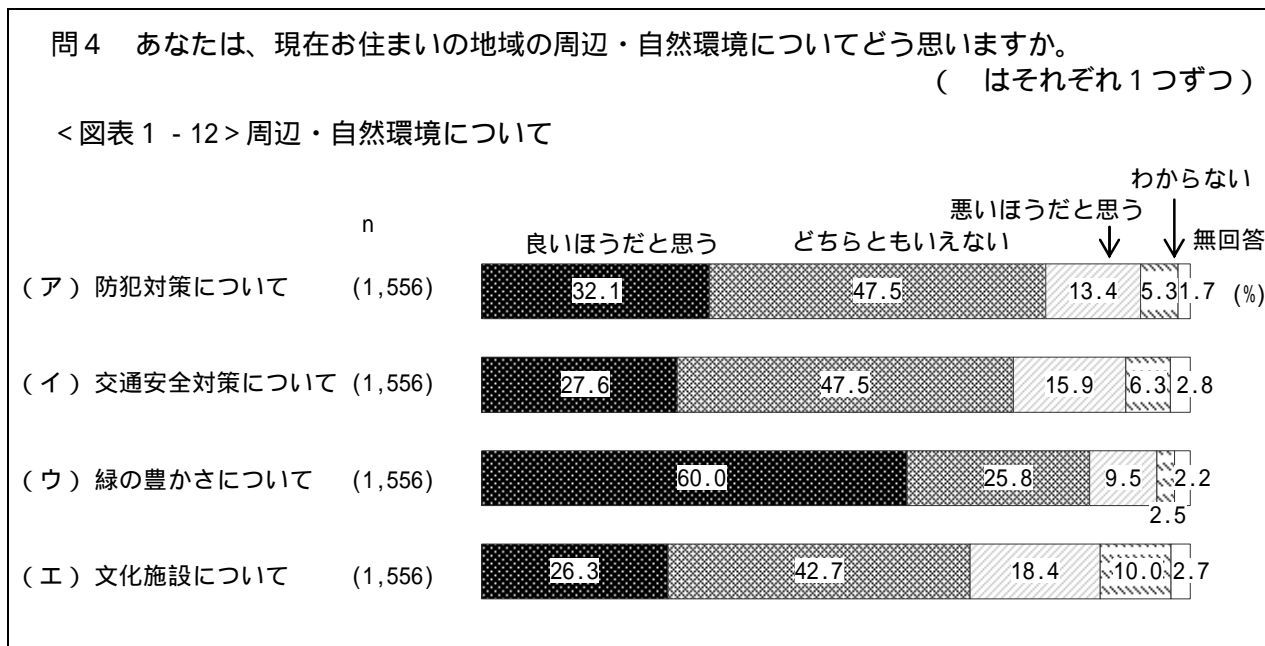
性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(73.6%)が最も高く、以下、男性の50代(70.9%)、女性の50代(69.8%)、男性の60～64歳以上(69.1%)と続いている。(図表1-11)

<図表1 - 11> 生活環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



(4) 周辺・自然環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて で6割



周辺・自然環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて (60.0%) が6割となっており、以下、防犯対策について (32.1%)、交通安全対策について (27.6%)、文化施設について (26.3%) が続く。

(図表1-12)

【地域別】

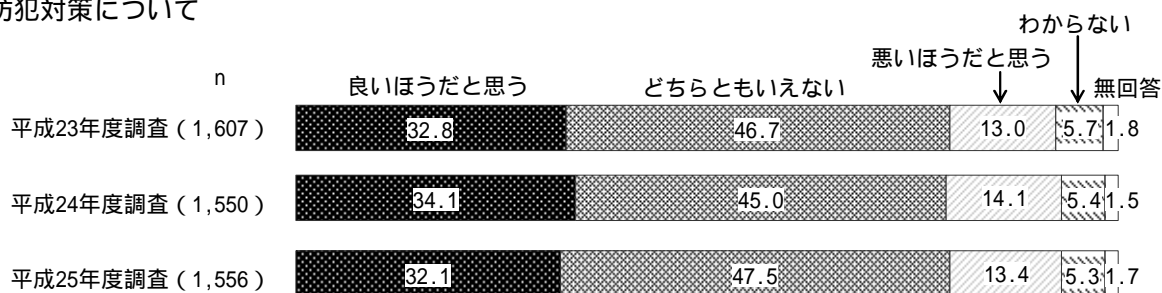
地域別にみると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(39.2%)、“夷隅地域”(39.1%)が約4割となっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は“長生地域”(31.6%)、“香取地域”(31.4%)、“千葉地域”(31.0%)が3割を超えている一方、「悪いほうだと思う」では“山武地域”(29.5%)が約3割となっている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は“夷隅地域”(95.7%)、“安房地域”(94.4%)が9割台半ばと高くなっている一方、“海匝地域”(44.7%)が4割台半ばと低くなっている。文化施設についてにおいて、「悪いほうだと思う」は“長生地域”(42.1%)が4割を超えている。(図表1-13)

【性・年代別】

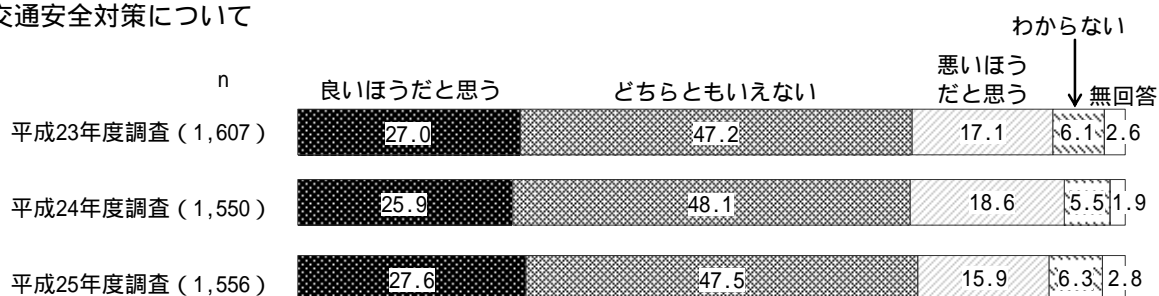
性・年代別でみると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(43.3%)が4割台半ば、男性の65歳以上(41.2%)、男性の60~64歳(40.7%)が4割を超えている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(30.0%)が3割、女性の20代(29.4%)と約3割と高くなっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(38.8%)が約4割で最も高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の30代(29.9%)が約3割で最も高くなっている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳(65.4%)、女性の65歳以上(64.5%)が6割台半ばと高く、文化施設についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(31.6%)、女性の30代(31.4%)が3割を超えている。(図表1-13)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

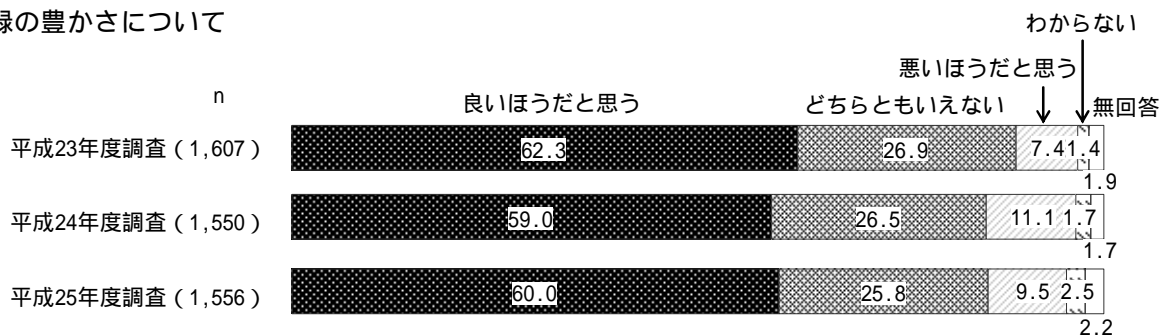
（ア）防犯対策について



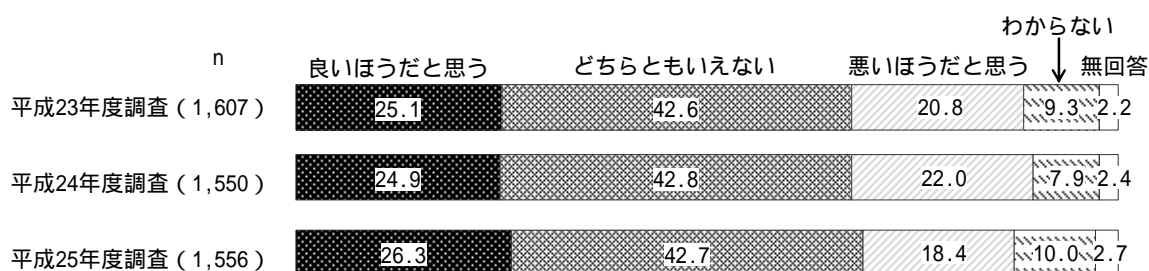
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



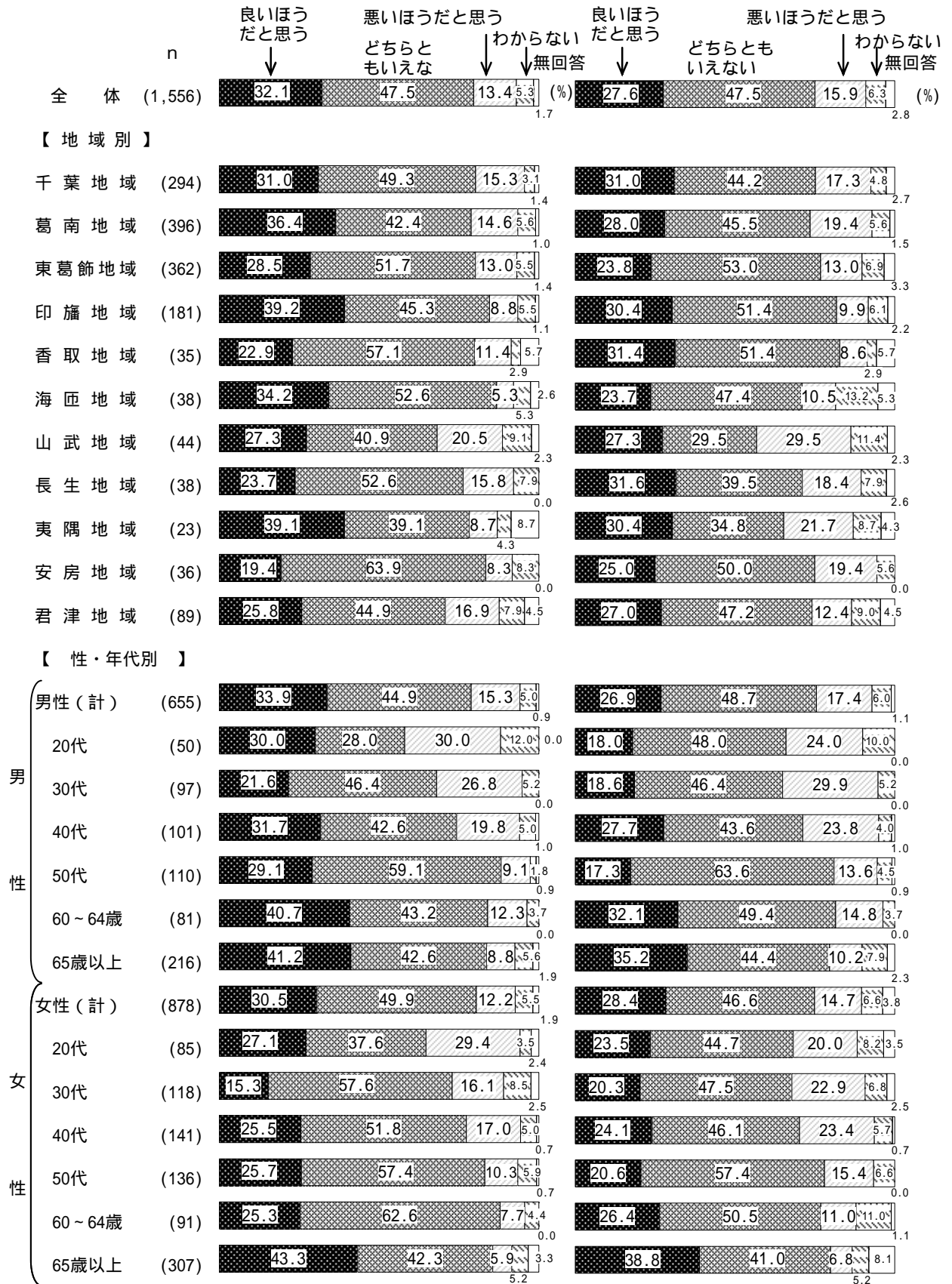
（エ）文化施設について



<図表1 - 13> 周辺・自然環境について / 地域別、性・年代別

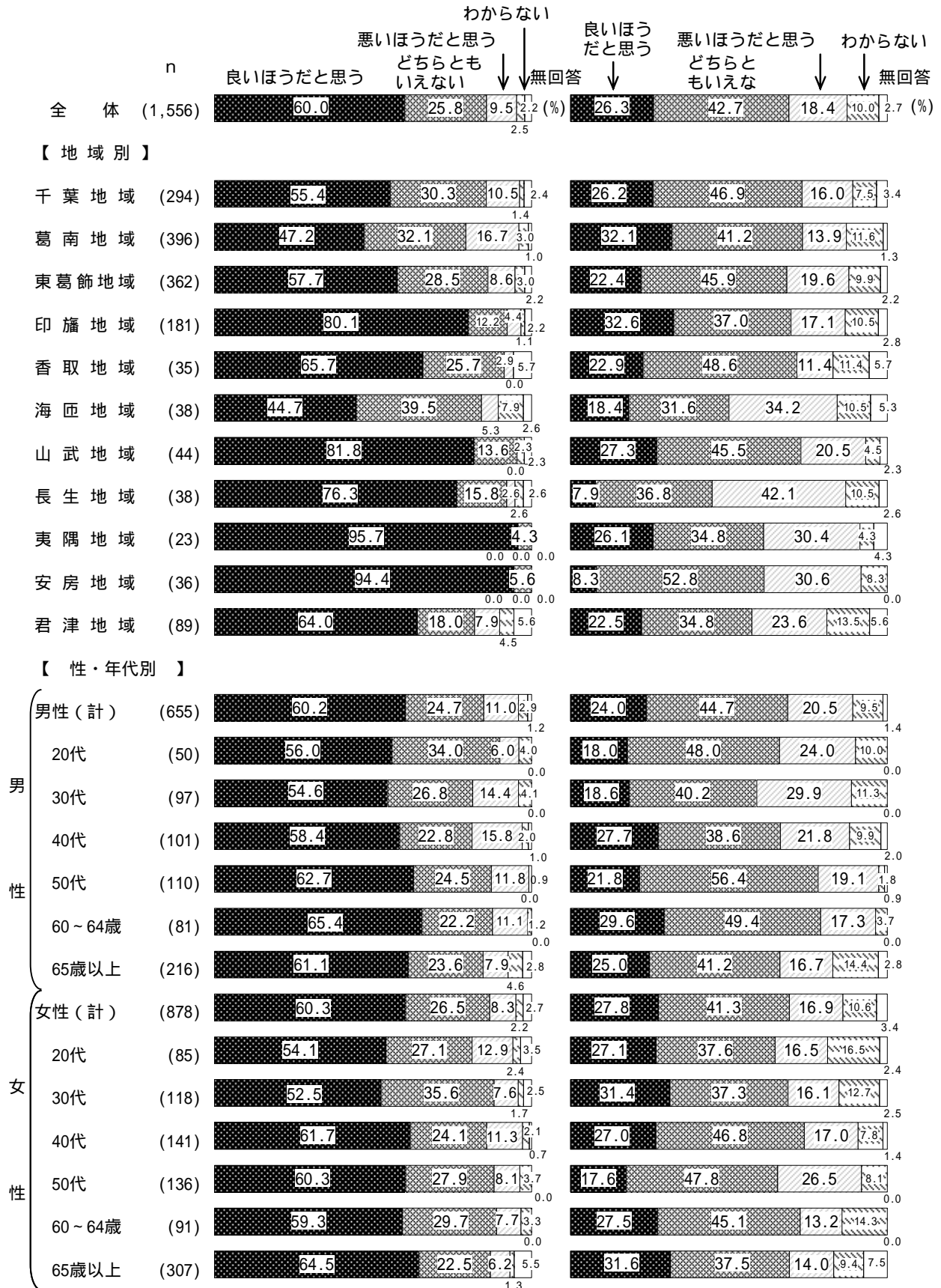
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

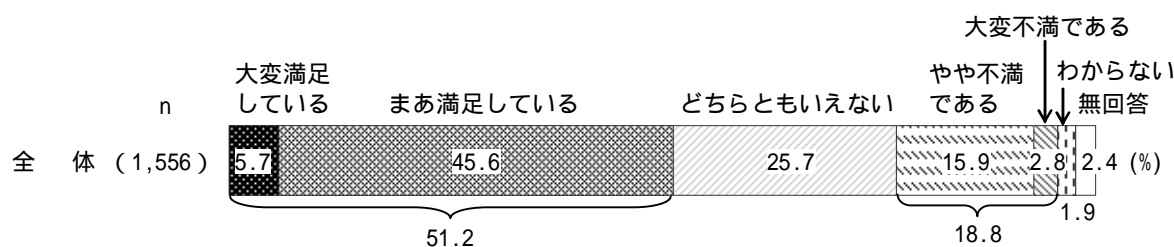


(5) 周辺・自然環境全般の満足度

『満足している』は5割を超えている

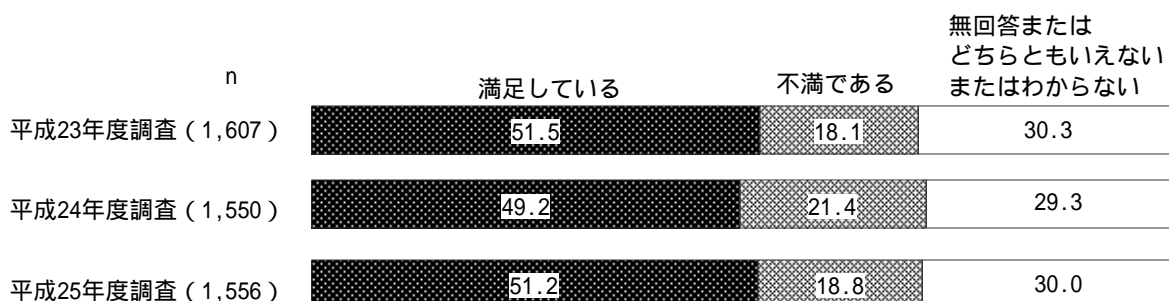
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般について満足していますか。(は1つ)

<図表1-14> 周辺・自然環境全般の満足度



周辺・自然環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.7%)と「まあ満足している」(45.6%)を合わせた『満足している』(51.2%)は5割を超えている。一方、「やや不満である」(15.9%)と「大変不満である」(2.8%)を合わせた『不満である』(18.8%)は約2割となっている。(図表1-14)

〔参考〕平成23年度・平成24年度調査の同様の項目による調査結果との比較



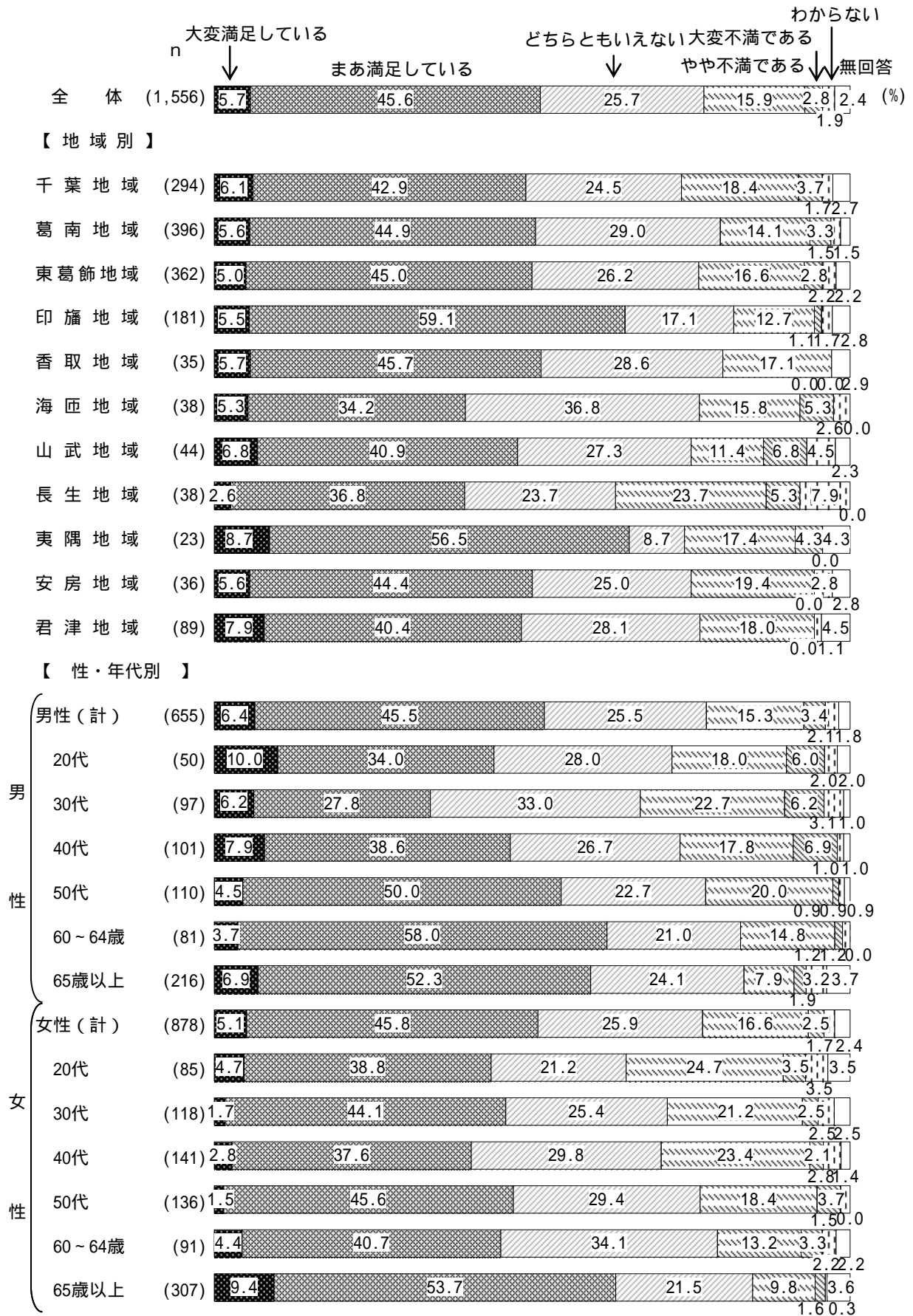
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(65.2%)、“印旛地域”(64.6%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-15)

【性・年代別】

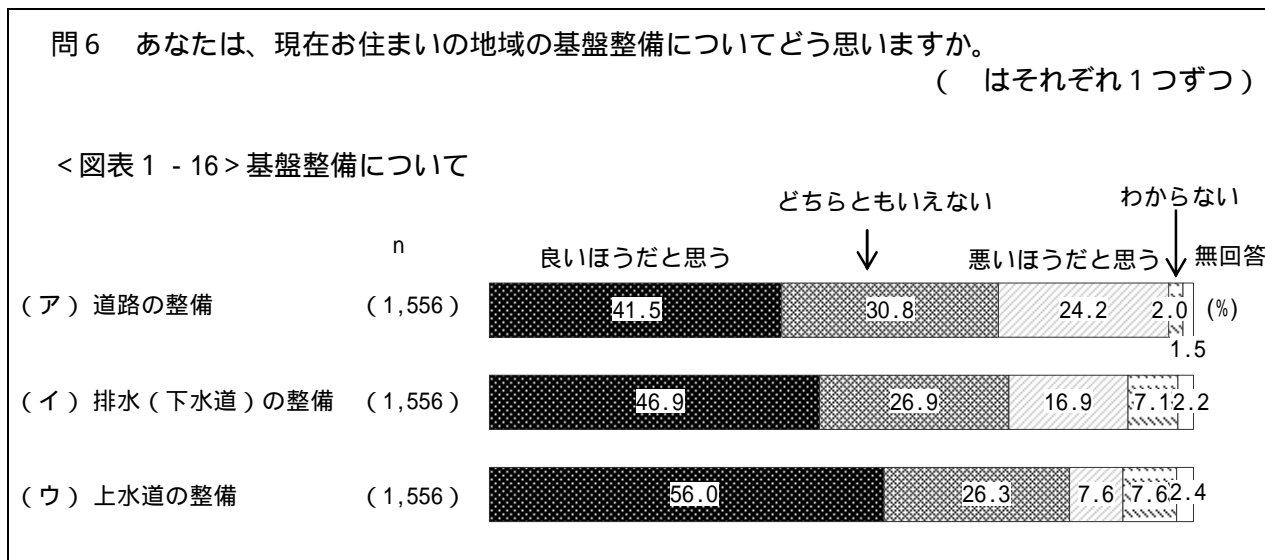
性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(63.2%)、男性の60～64歳(61.7%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-15)

<図表1 - 15> 周辺・自然環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



(6) 基盤整備について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 上水道の整備 で5割台半ば



基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、上水道の整備 (56.0%) で5割台半ばとなっている。次いで、排水(下水道)の整備 (46.9%) が4割台半ば、道路の整備 (41.5%) が4割を超えている。(図表1-16)

【地域別】

地域別にみると、道路の整備 において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(49.2%)、“千葉地域”(48.6%)が約5割、「悪いほうだと思う」は“長生地域”(42.1%)が4割を超え、“安房地域”(38.9%)、“香取地域”(37.1%)が約4割となっている。排水(下水道)の整備 において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”(55.8%)、“印旛地域”(54.7%)が5割台半ばである一方、「悪いほうだと思う」は“夷隅地域”(43.5%)、“山武地域”(43.2%)、“長生地域”(42.1%)が4割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。上水道の整備 において、「良いほうだと思う」は葛南地域”(61.6%)、“千葉地域”(61.2%)が6割台半ばとなっている。(図表1-17)

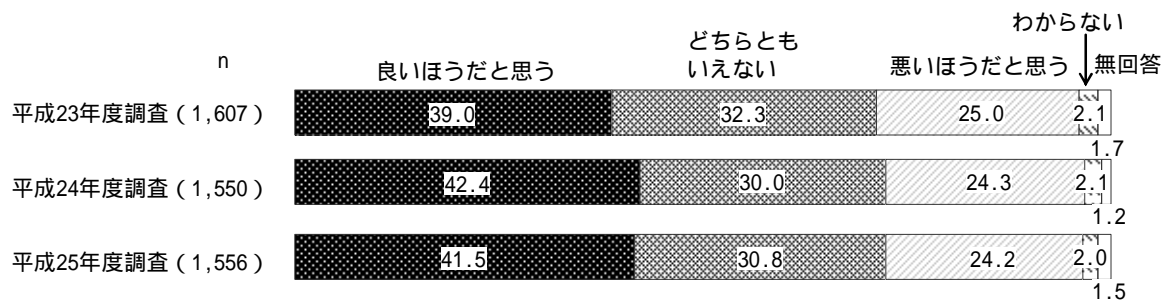
【性・年代別】

性・年代別にみると、道路の整備 において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(47.9%)が約5割、女性の60~64歳(45.1%)、男性の60~64歳(43.2%)、男性の65歳以上(43.1%)が4割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(42.0%)が4割を超えている。排水(下水道)の整備 において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳以上(61.7%)が6割を超え、女性30代(53.4%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。

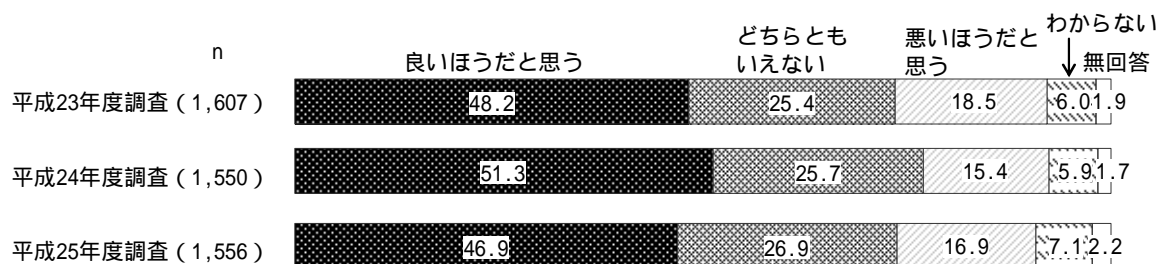
上水道の整備 において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳(72.8%)が7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-17)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

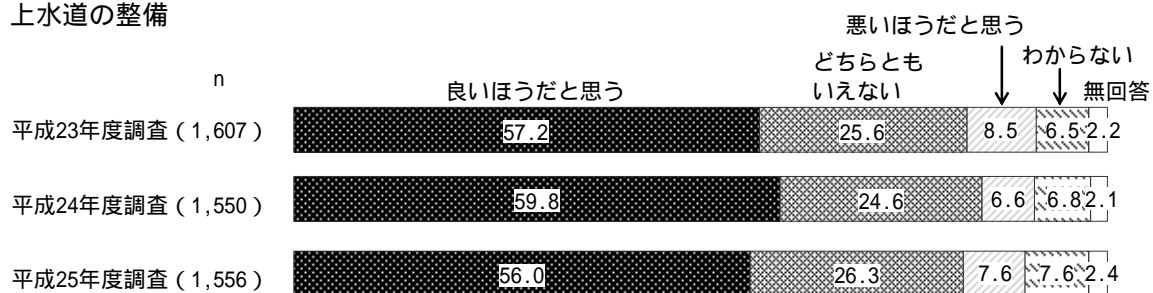
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



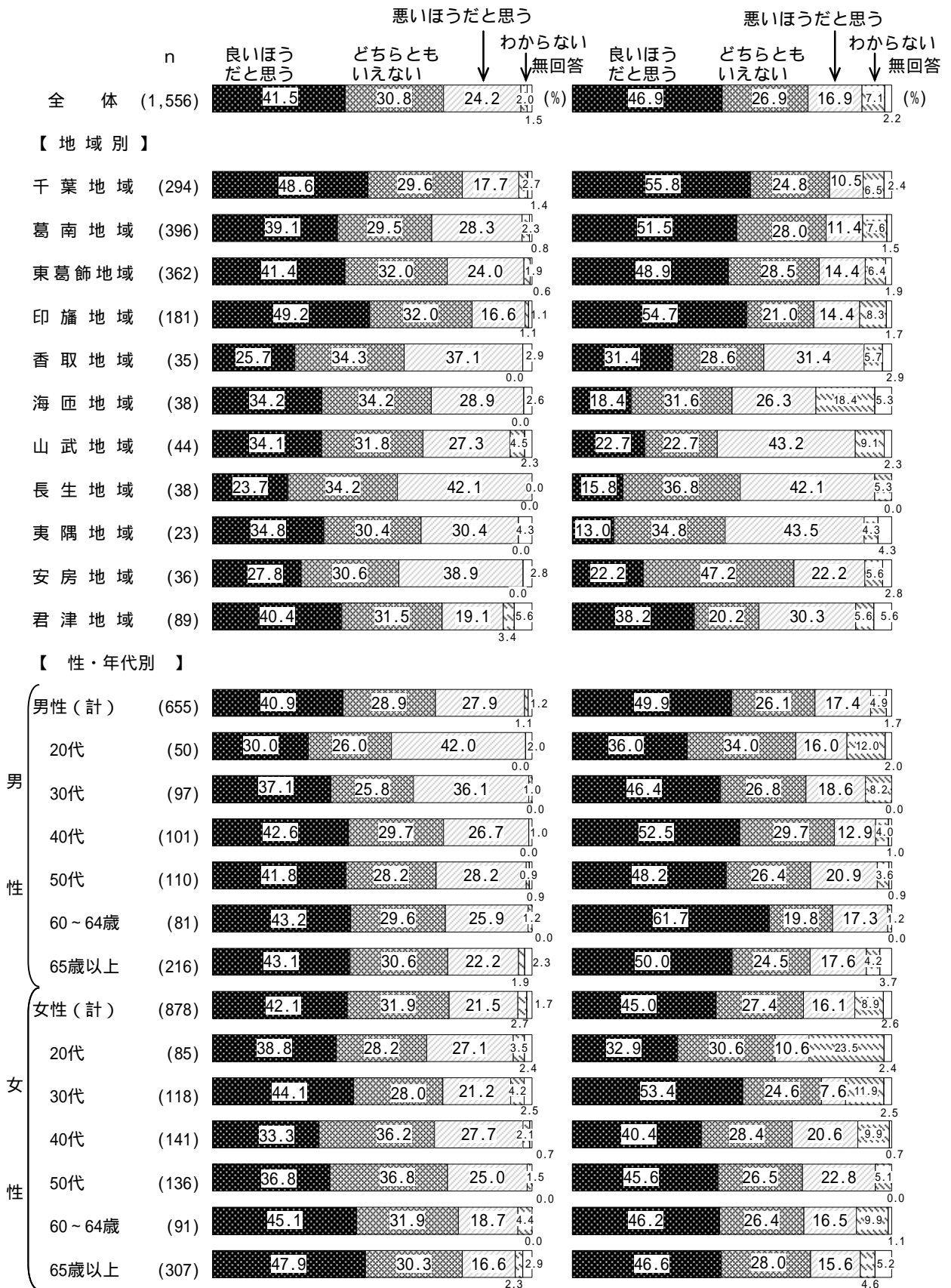
（ウ）上水道の整備



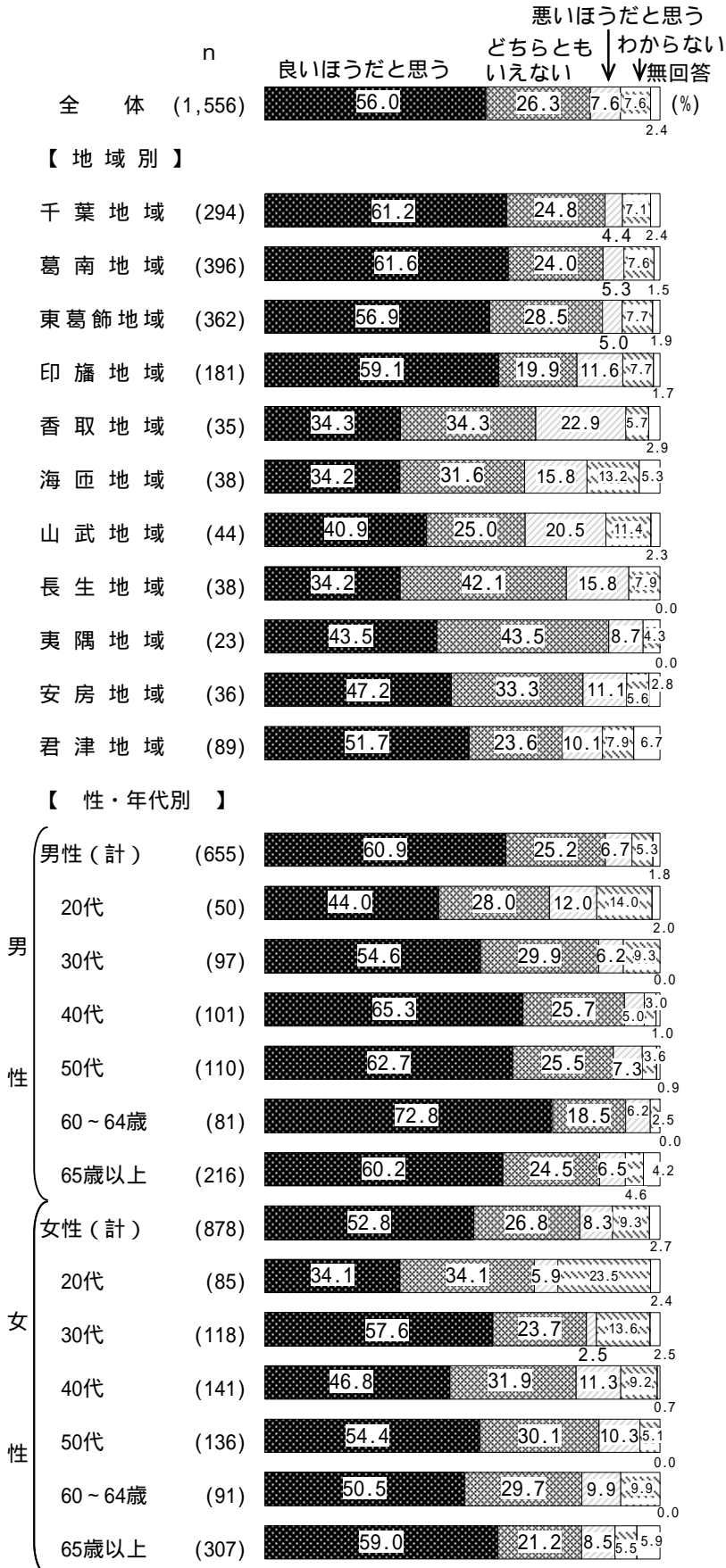
<図表1 - 17> 基盤整備について / 地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備

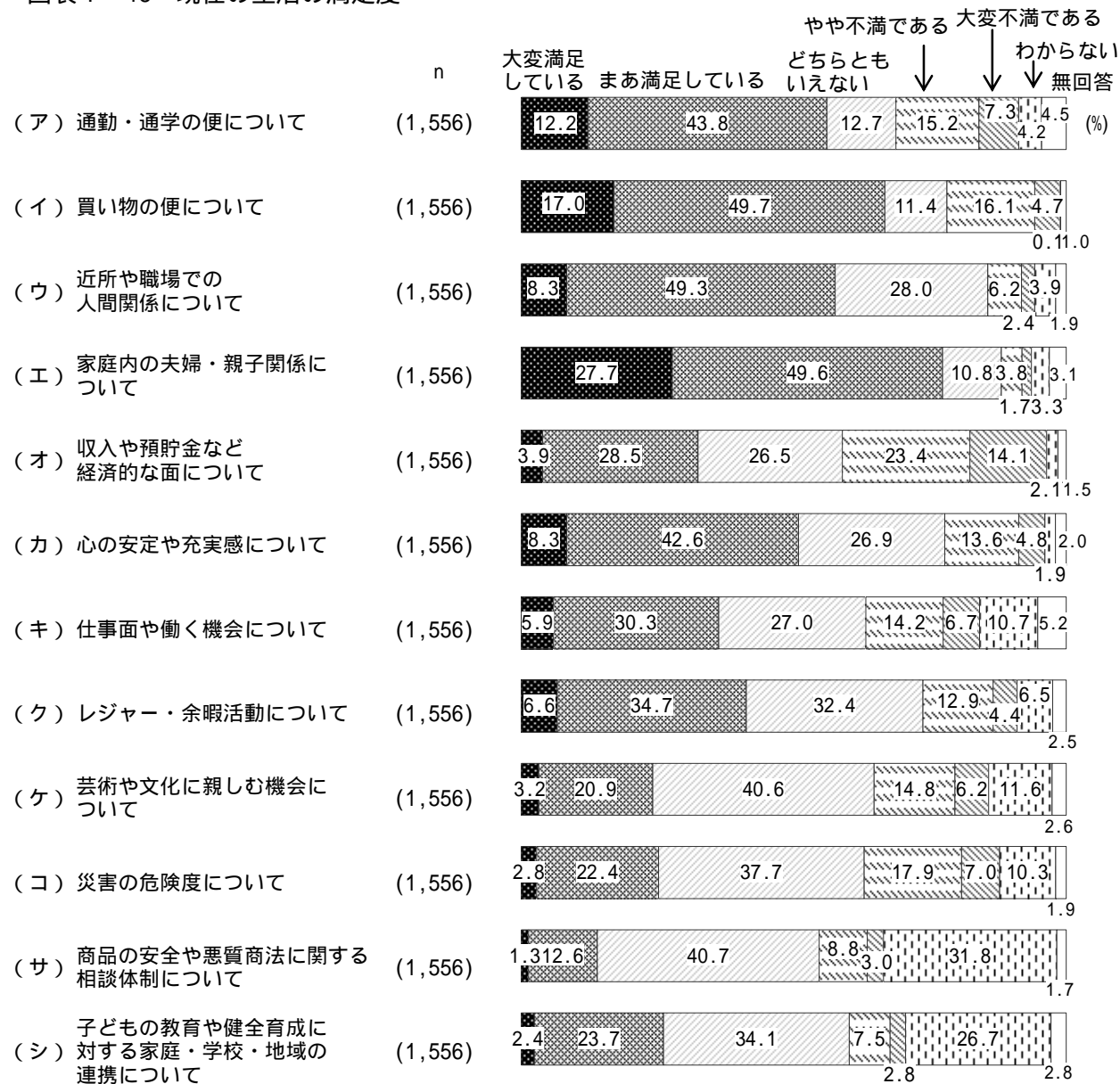


(7) 現在の生活の満足度

『満足している』が最も高いのは 家庭内の夫婦・親子関係について で約8割

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(はそれぞれ1つずつ)

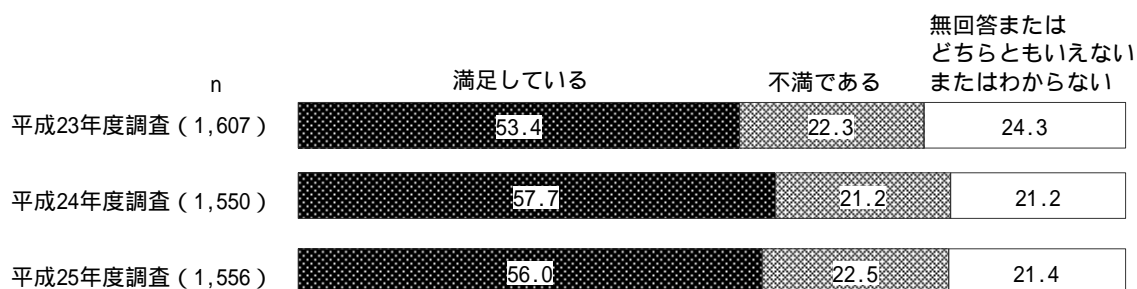
<図表1 - 18> 現在の生活の満足度



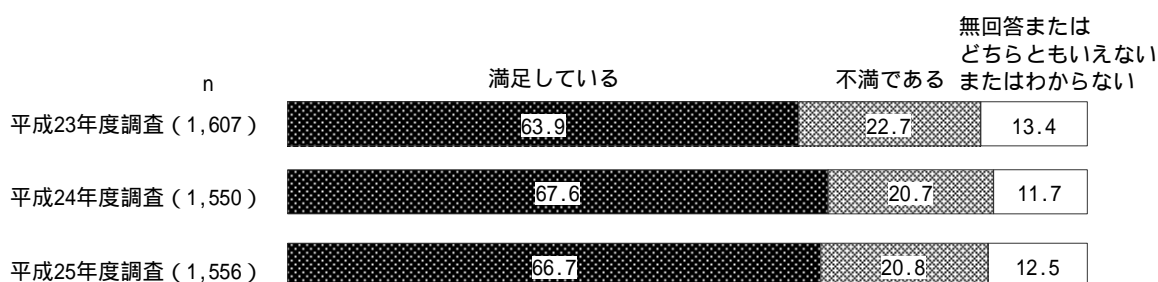
現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、家庭内の夫婦・親子関係について(77.2%)で約8割となっている。以下、買い物の便について(66.7%)、近所や職場での人間関係について(57.6%)、通勤・通学の便について(56.0%)と続く。一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』の割合は、収入や預貯金など経済的な面について(37.5%)が約4割となっており、『不満である』の割合が『満足している』の割合を上回っている。(図表1 - 18)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

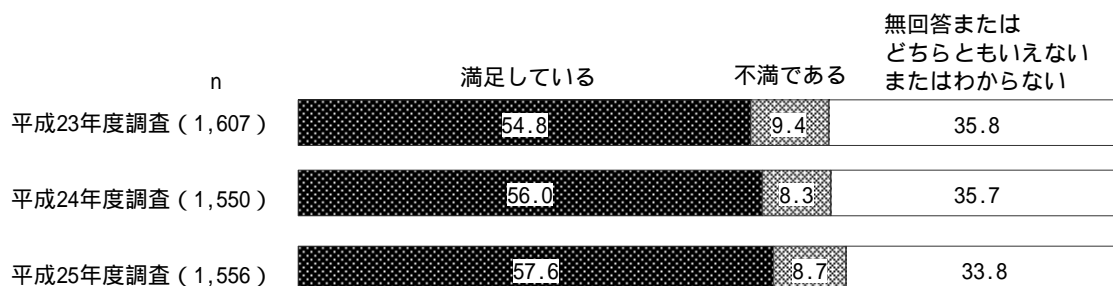
（ア）通勤・通学の便について



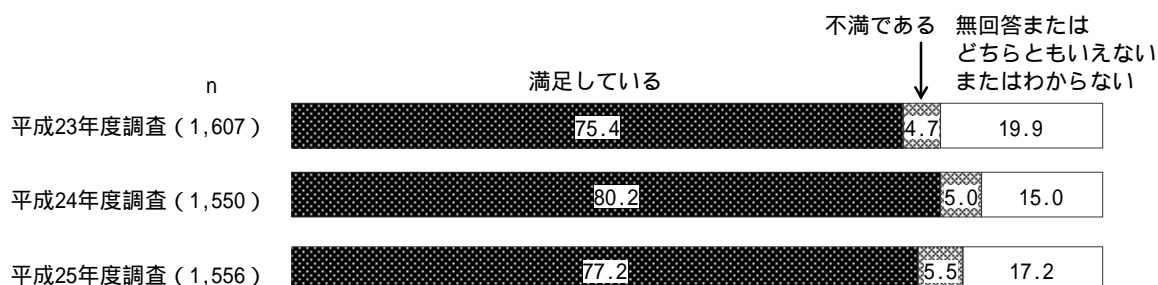
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

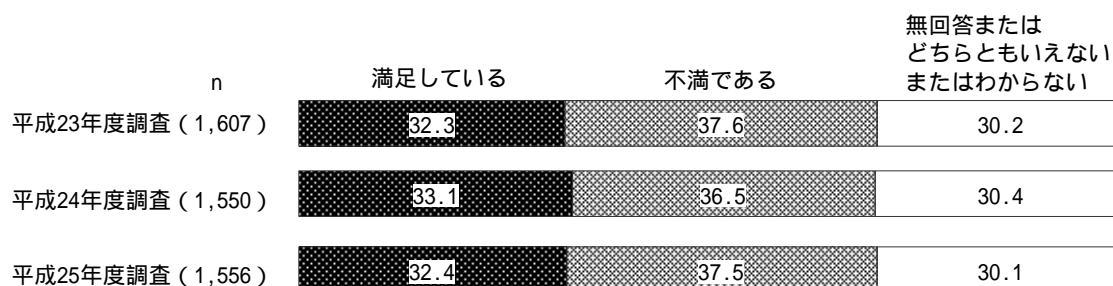


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

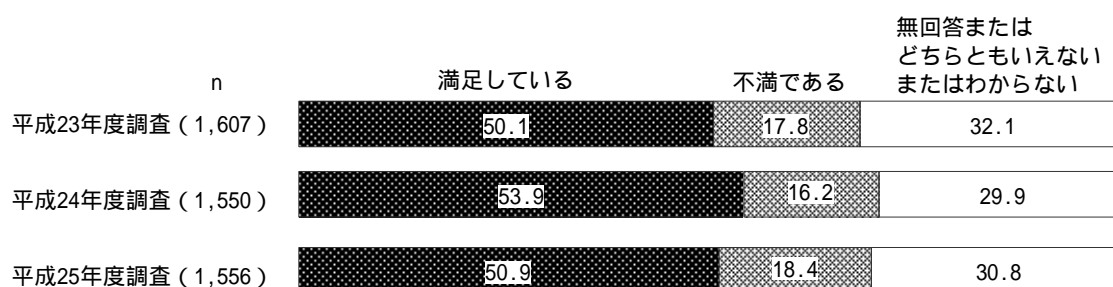


〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

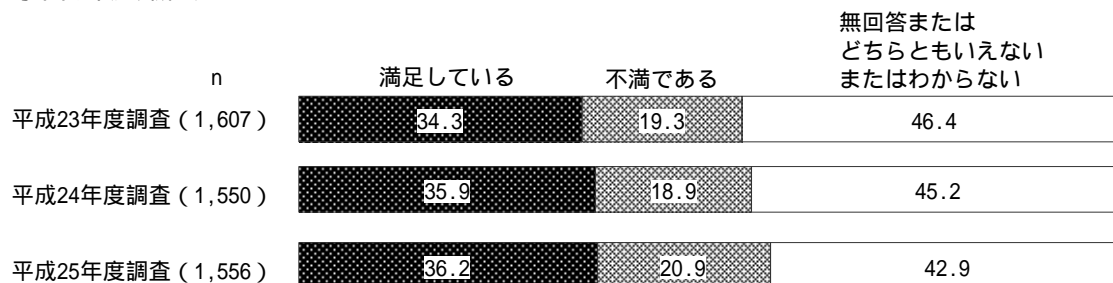
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



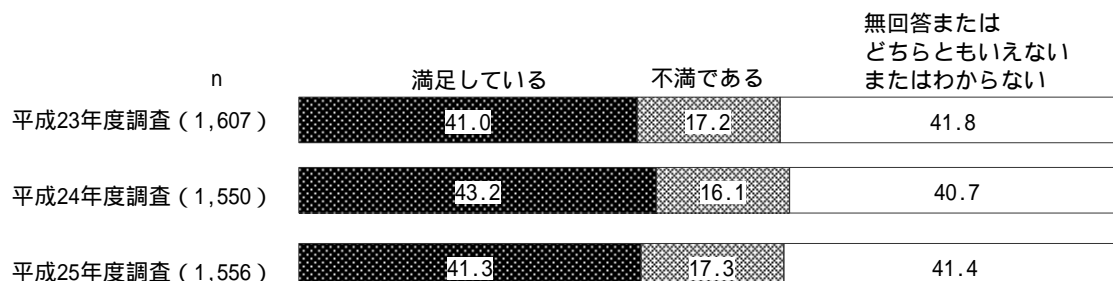
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について

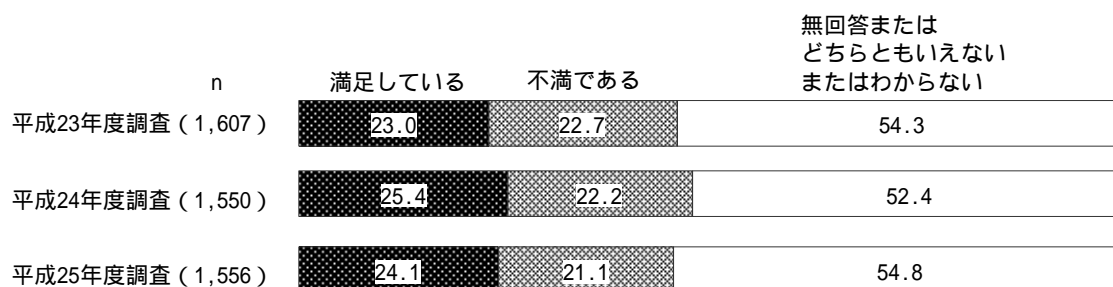


（ク）レジャー・余暇活動について

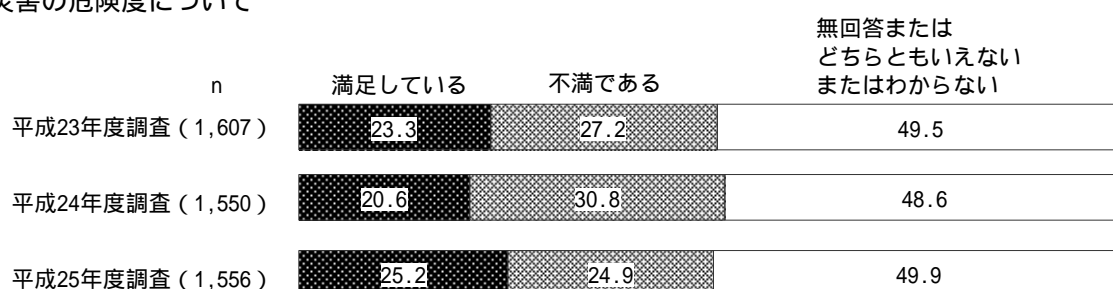


〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

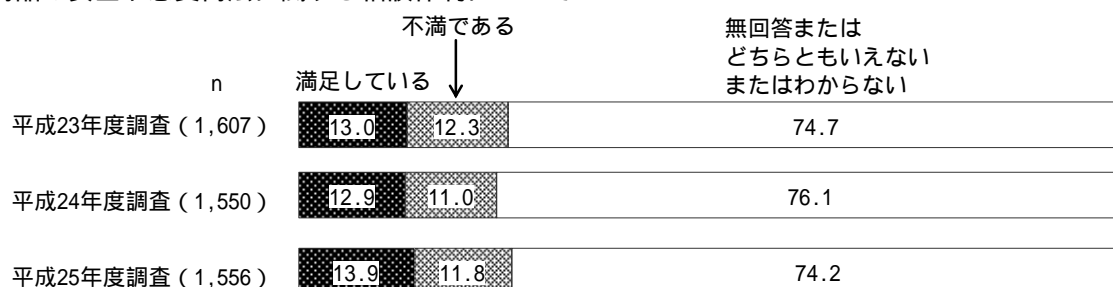
（ケ）芸術や文化に親しむ機会について



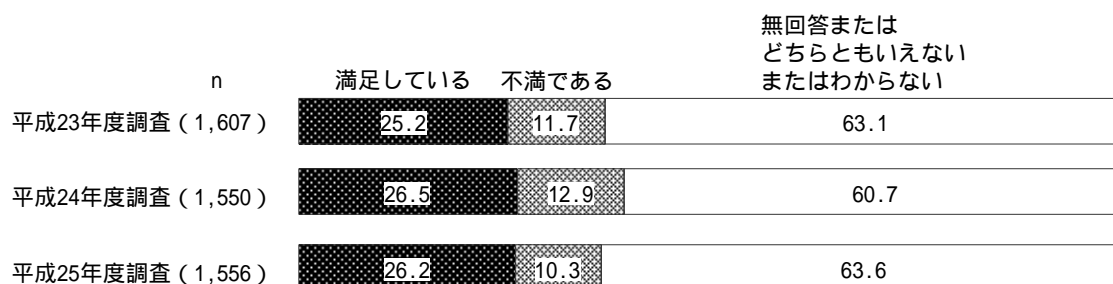
（コ）災害の危険度について



（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



【地域別】

地域別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は“葛南地域”(66.9%)が6割台半ばとなっている。

買い物の便について において、『満足している』は“葛南地域”(79.5%)が約8割となっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』は“君津地域”(62.9%)が6割を超えている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』は“安房地域”(80.6%)が8割となっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は“長生地域”(42.1%)が4割を超えている。一方、『不満である』は“海匝地域”(57.9%)が約6割となっている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は“葛南地域”(54.5%)が5割台半ばとなっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は“山武地域”(47.7%)が約5割となっている。一方、『不満である』は“安房地域”(36.1%)、 “香取地域”(34.3%)、 “海匝地域”(34.2%)で3割台半ばとなっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は“山武地域”(50.0%)が5割、“葛南地域”(47.5%)が約5割となっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は“葛南地域”(28.3%)と約3割となっている。一方、『不満である』は“香取地域”(42.9%)と4割を超える。

災害の危険度について において、『満足している』は“印旛地域”(35.4%)、 “夷隅地域”(34.8%)、 “香取地域”(34.3%)で3割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“安房地域”(50.0%)で5割となっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『不満である』は“夷隅地域”(30.4%)が3割となっている。

子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は“夷隅地域”(47.8%)が約5割となっている。(図表1 - 19)

【性・年代別】

性・年代別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は男性の60～64歳(65.4%)、女性の30代(64.4%)が6割台半ばとなっている。

買い物の便について において、『満足している』は女性の30代(74.6%)が7割台半ば、男性の60～64歳(70.4%)、50代(70.0%)が7割となっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』は女性の50代(64.0%)、女性の65歳以上(63.2%)が6割台半ば、男性の50代(62.7%)、男性の20代(60.0%)が6割以上となっている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』はすべての性・年代で7割以上となっており、特に女性の20代(83.5%)が8割台半ばとなっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は男性の60～64歳(42.0%)が4割を超えている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は男性の60～64歳(58.0%)、30代(57.7%)が約6割となっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は男性の60～64歳（51.9%）が5割を超え、男性の30代（50.5%）、男性の50代（50.0%）が5割となっている。一方、『不満である』は女性の20代（30.6%）、女性の30代（30.5%）で3割となっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は男性の30代（52.6%）、男性の20代（52.0%）、女性の30代（51.7%）、女性の20代（50.6%）では5割以上となっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は女性の20代（37.6%）が約4割となっている。一方、『不満である』は男性の50代（30.0%）、男性の60～64歳（29.6%）が約3割となっている。

災害の危険度について では、『満足している』は男性の50代（38.2%）が約4割となっている。一方『不満である』は、女性の20代（35.3%）、女性の30代（33.9%）が3割台半ばとなっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『満足している』は女性の20代（20.0%）が2割、男性の60～64歳（18.5%）、女性の65歳以上（18.2%）で約2割と他の年代に比べて最も高くなっている。

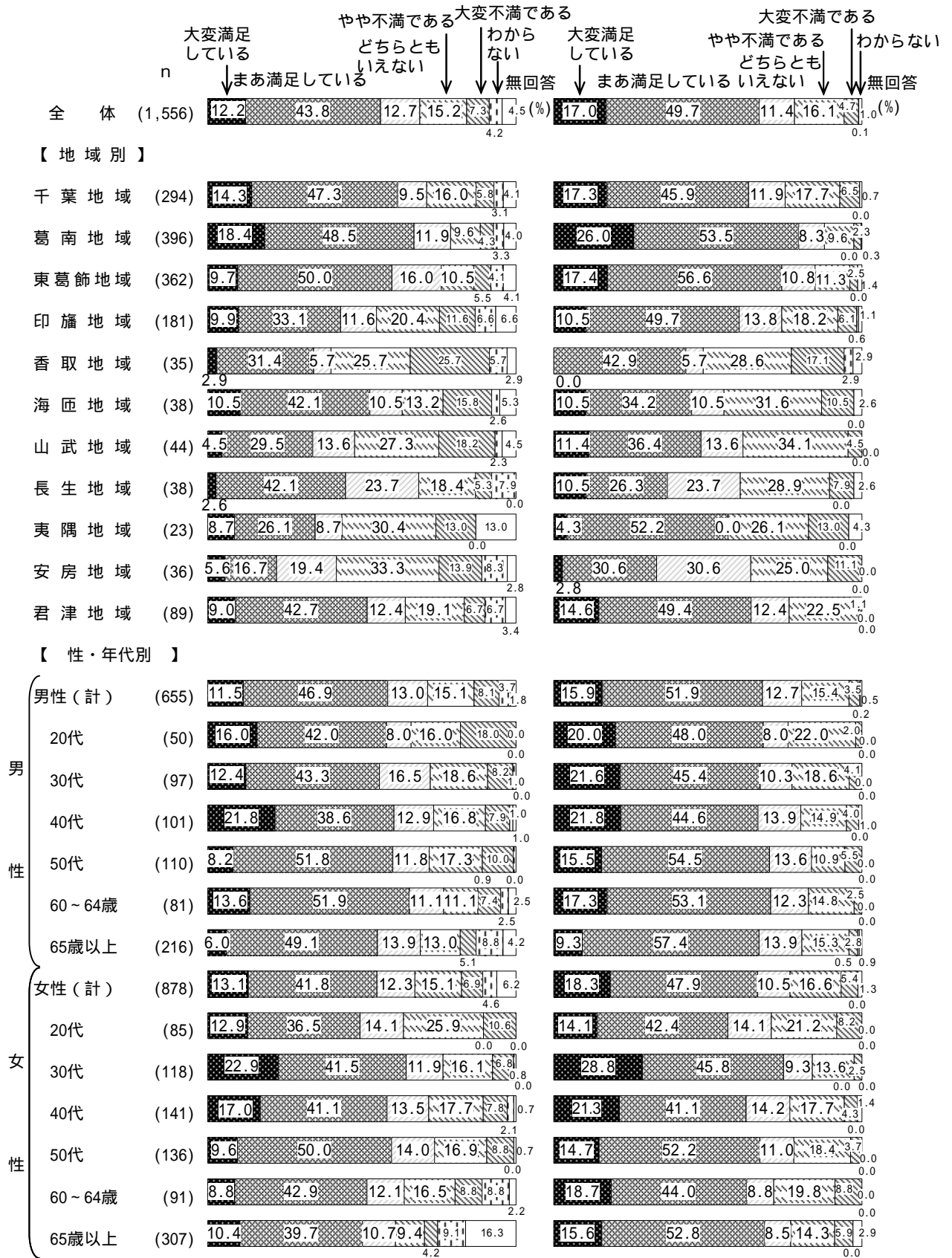
子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は男性の60～64歳（34.6%）が3割台半ばとなっている。

（図表 1 - 19）

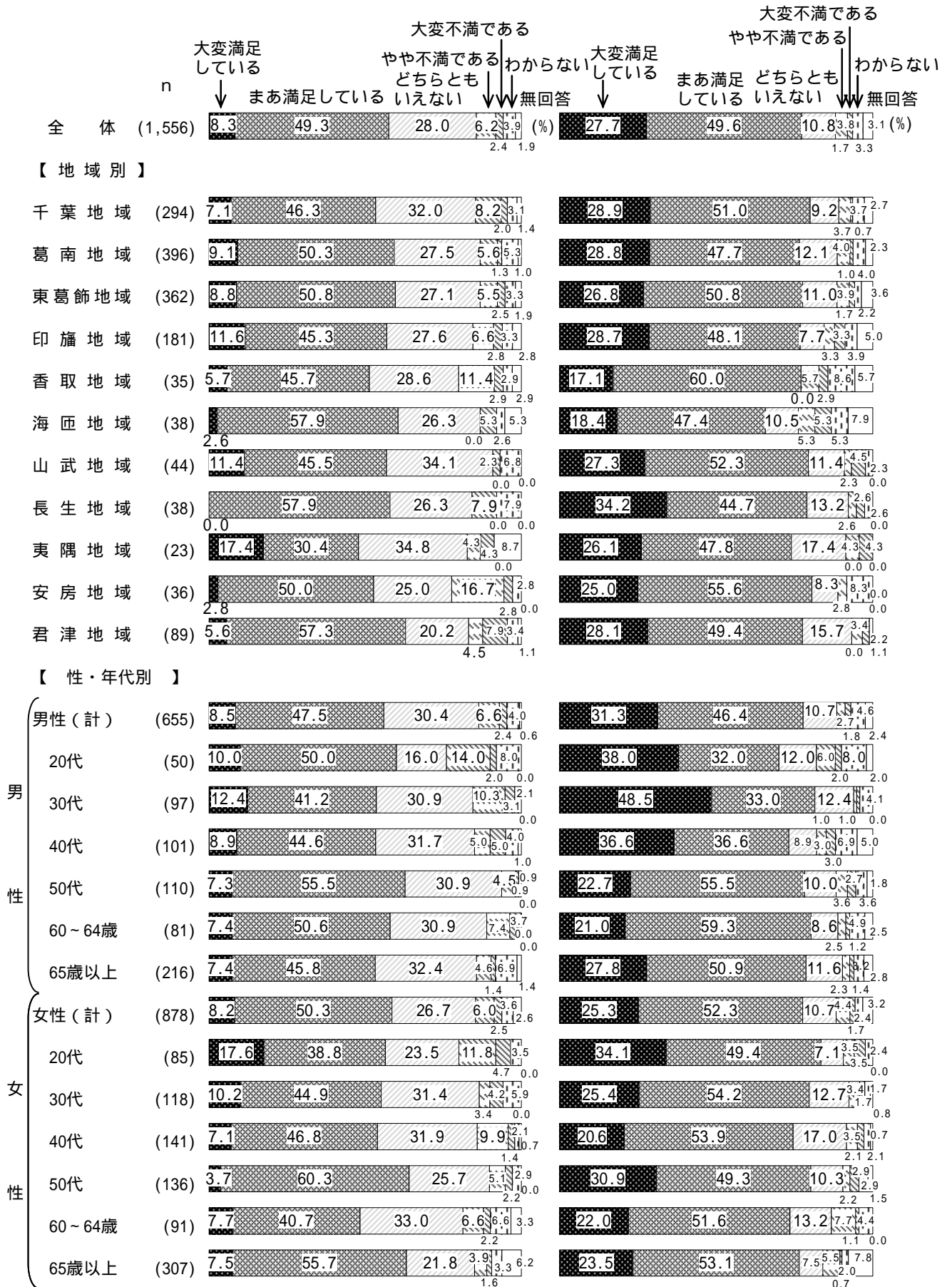
<図表1 - 19> 現在の生活の満足度 / 地域別、性・年代別

(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について

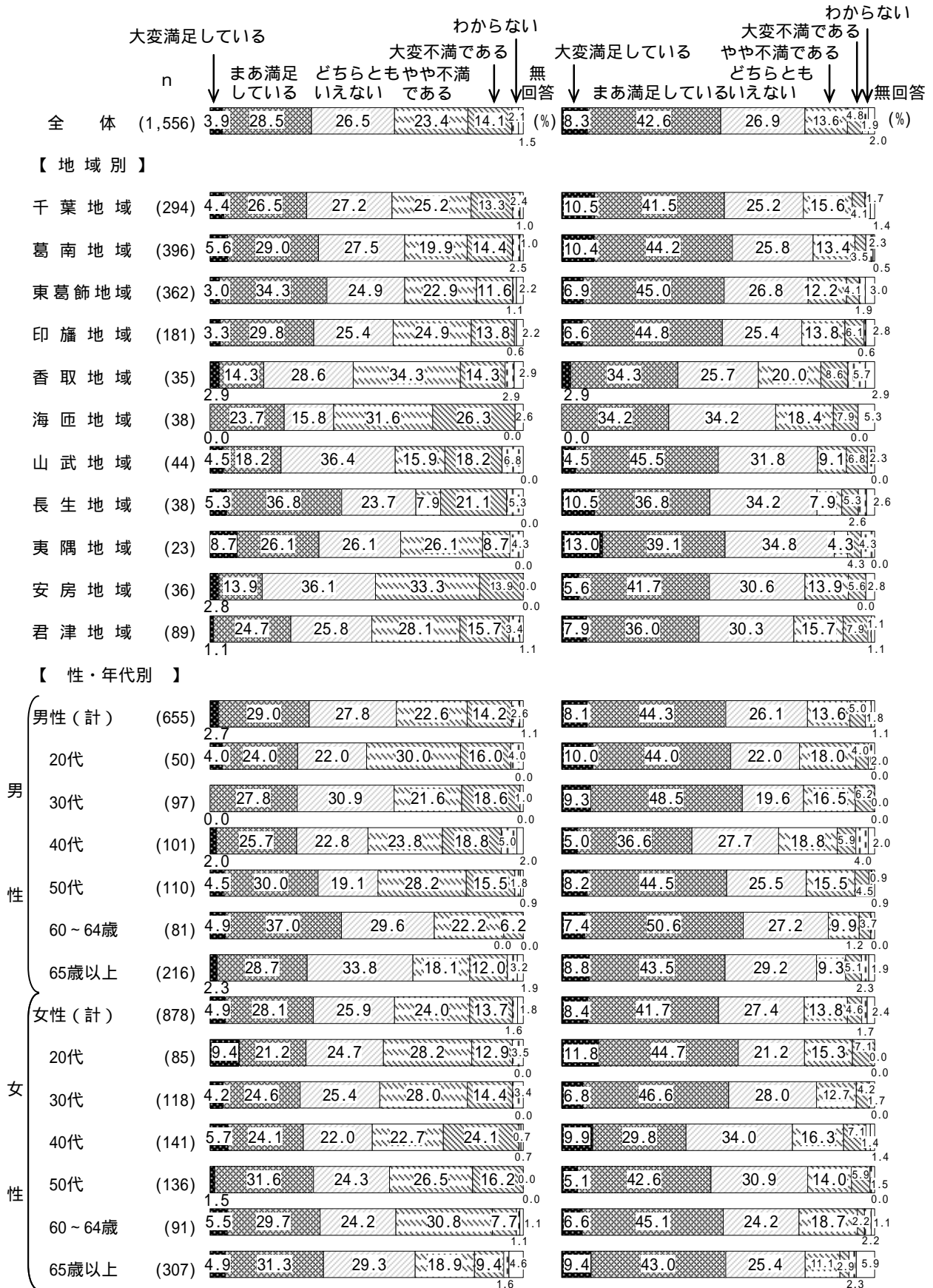


(ウ) 近所や職場での人間関係について (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



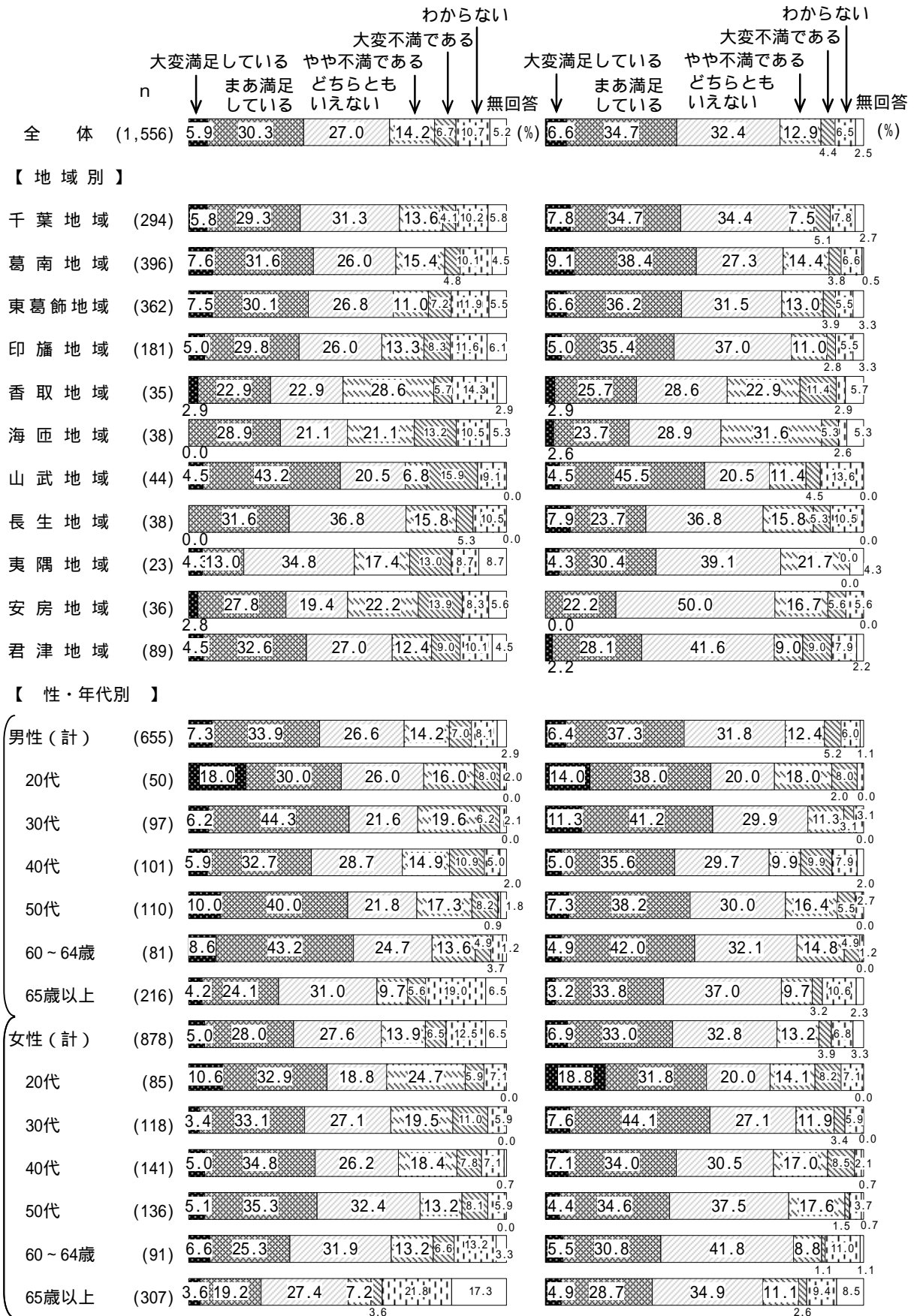
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

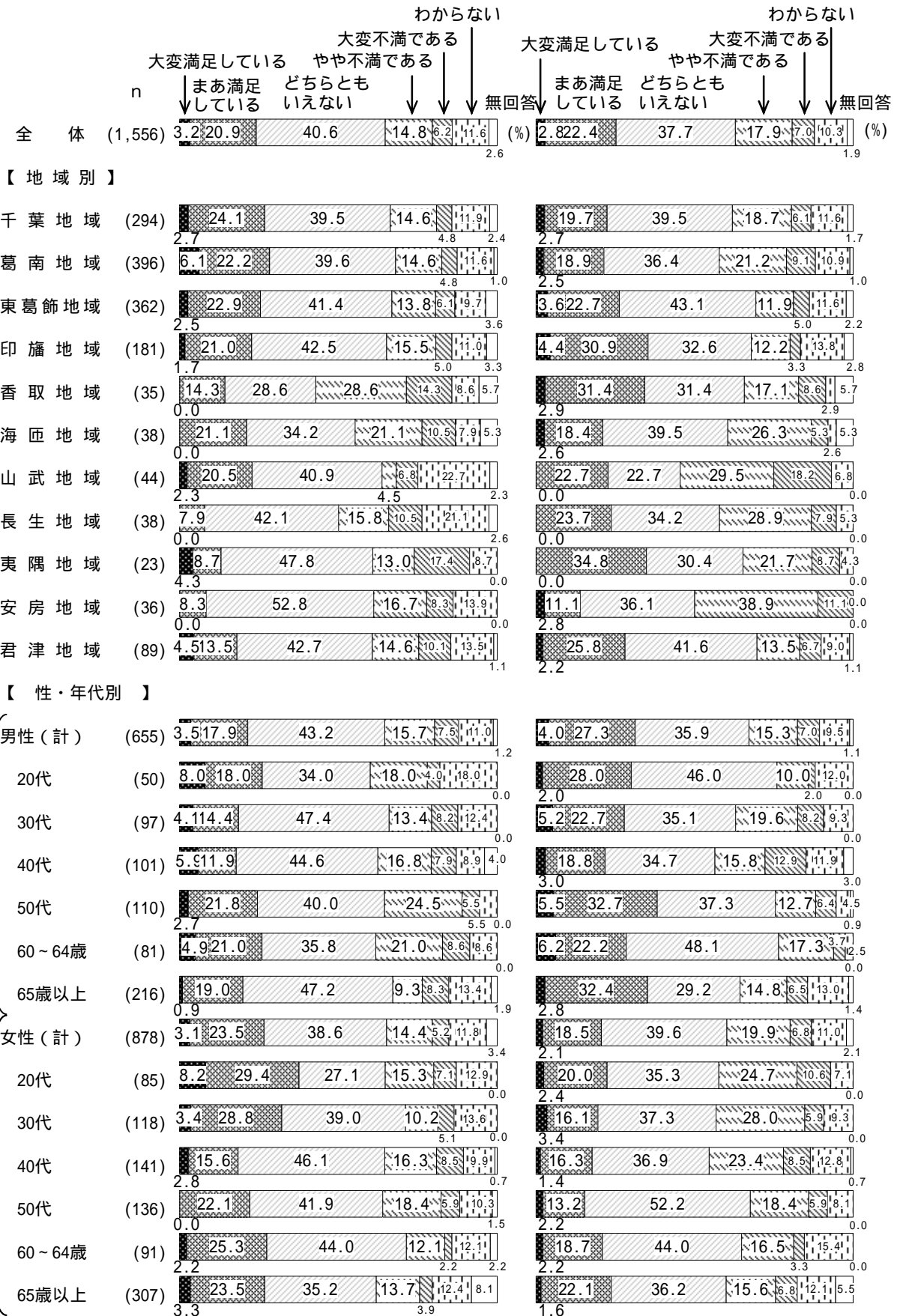


(キ) 仕事面や働く機会について

(ク) レジャー・余暇活動について

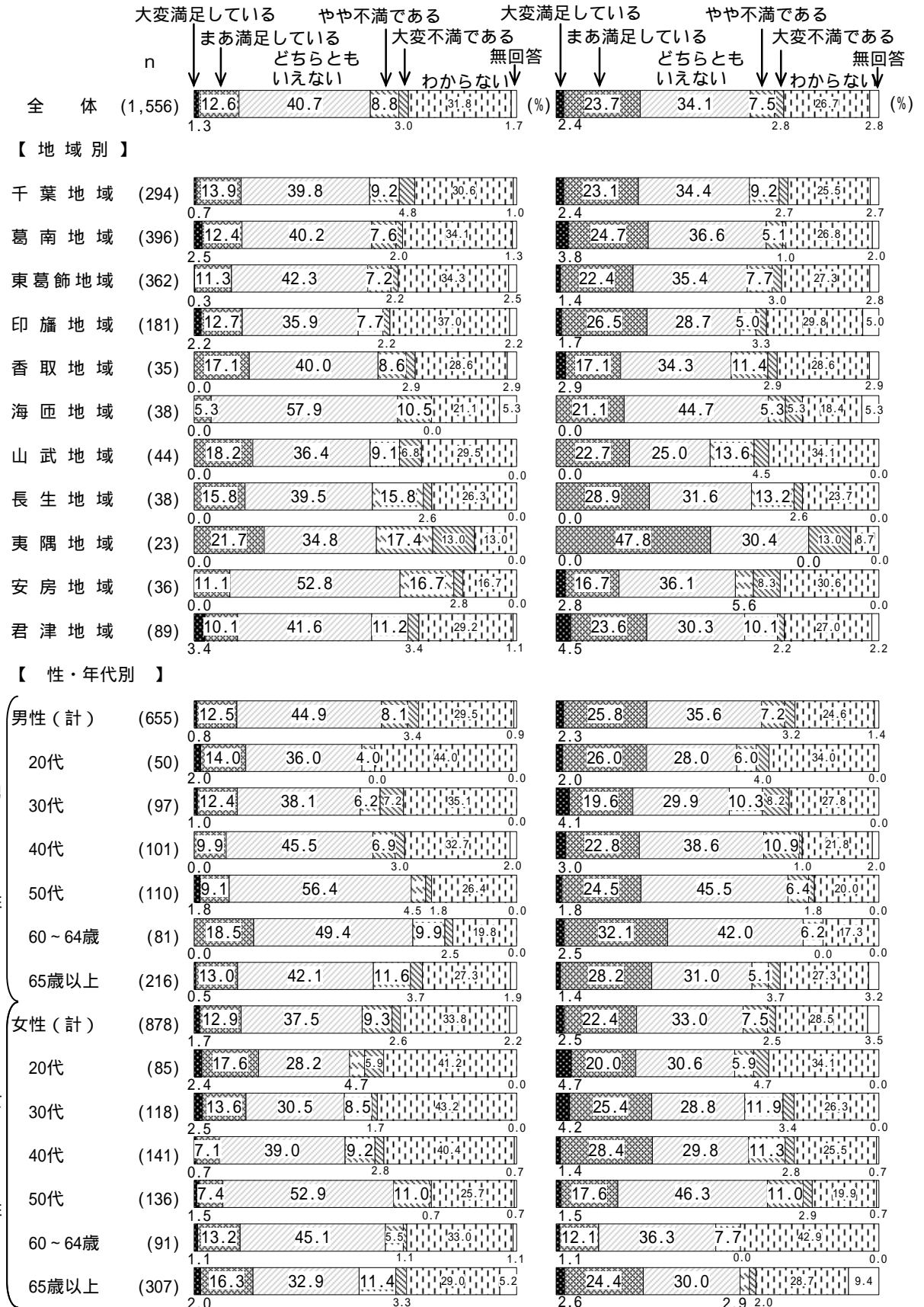


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 災害の危険度について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について

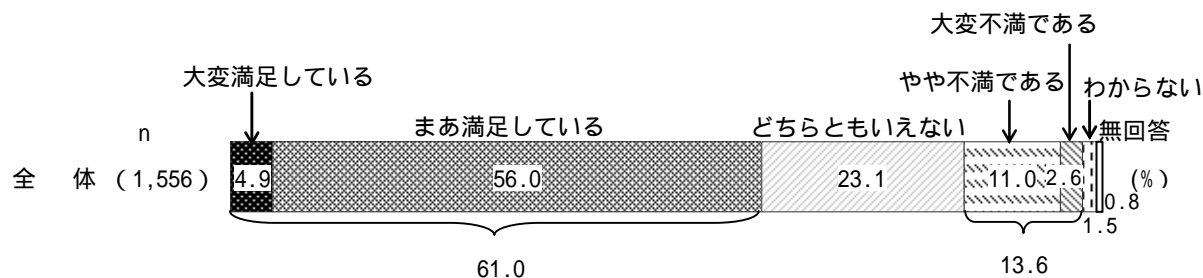


(8) 住生活全般の満足度

『満足している』が6割を超えている

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。
（ は1つ）

<図表1 - 20> 住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.9%）と「まあ満足している」（56.0%）を合わせた『満足している』（61.0%）は6割を超えている。一方、「やや不満である」（11.0%）と「大変不満である」（2.6%）を合わせた『不満である』（13.6%）は1割台半ばとなっている。（図表1 - 20）

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果（単位：%）

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成23年度調査（1,607）	59.1	14.0	26.9
平成24年度調査（1,550）	60.0	14.0	26.1
平成25年度調査（1,556）	61.0	13.6	25.4

【地域別】

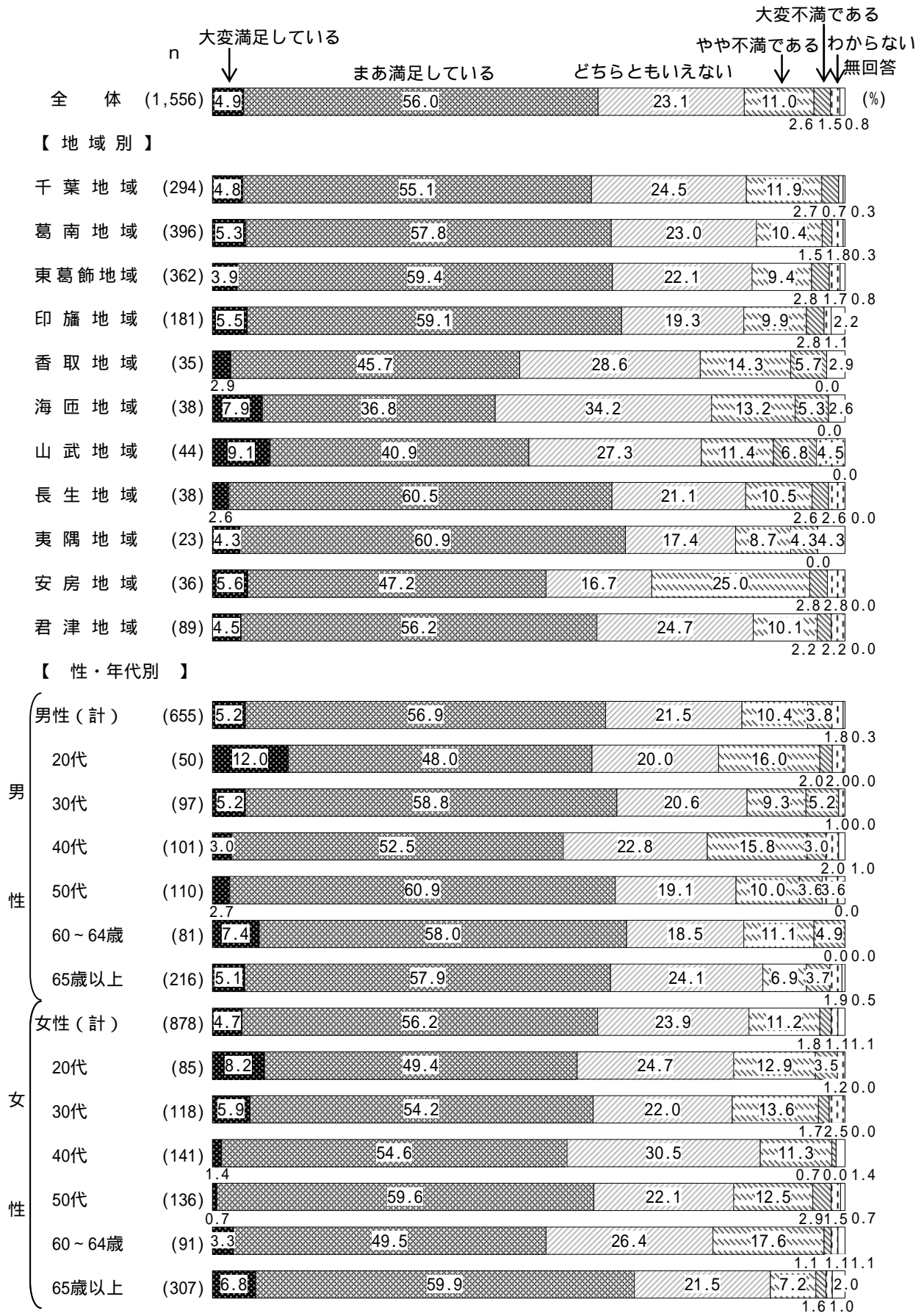
地域別にみると、『満足している』は“海匠地域”（44.7%）が4割台半ばで他の地域に比べて低くなっている。（図表1 - 21）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上（66.8%）、男性の60～64歳（65.4%）、男性の30代（63.9%）、男性の50代（63.6%）、男性の65歳以上（63.0%）が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の40代（18.8%）、女性の60～64歳（18.7%）、男性の20代（18.0%）が約2割となっている。

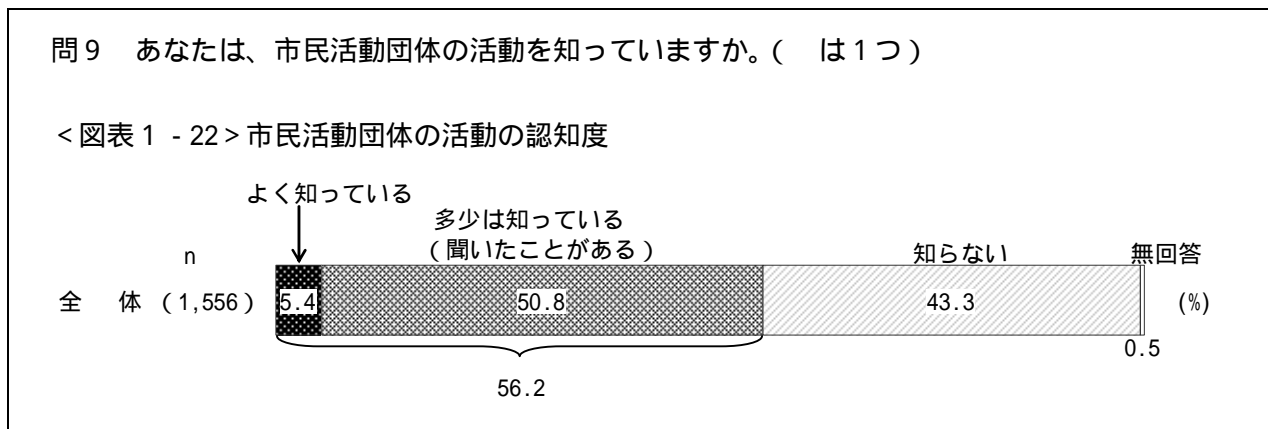
（図表1 - 21）

<図表1 - 21> 住生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別



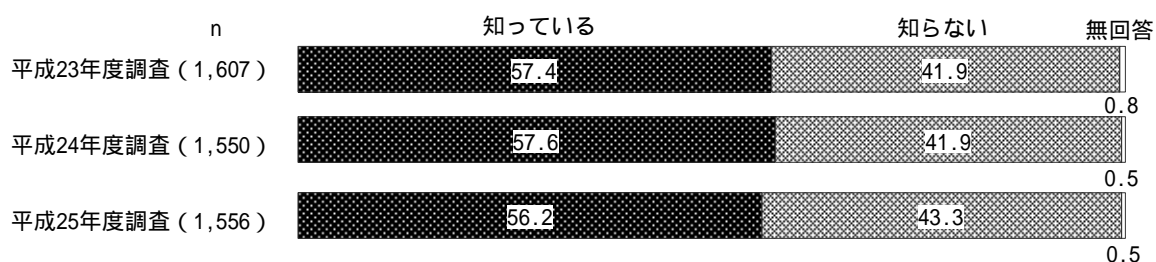
(9) 市民活動団体の活動の認知度

『知っている』は5割台半ば



市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている (聞いたことがある)」(50.8%) が5割と最も高く、これと「よく知っている」(5.4%)の2つを合わせた『知っている』(56.2%)は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(43.3%)は4割台半ばとなっている。(図表1 - 22)

[参考] 平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



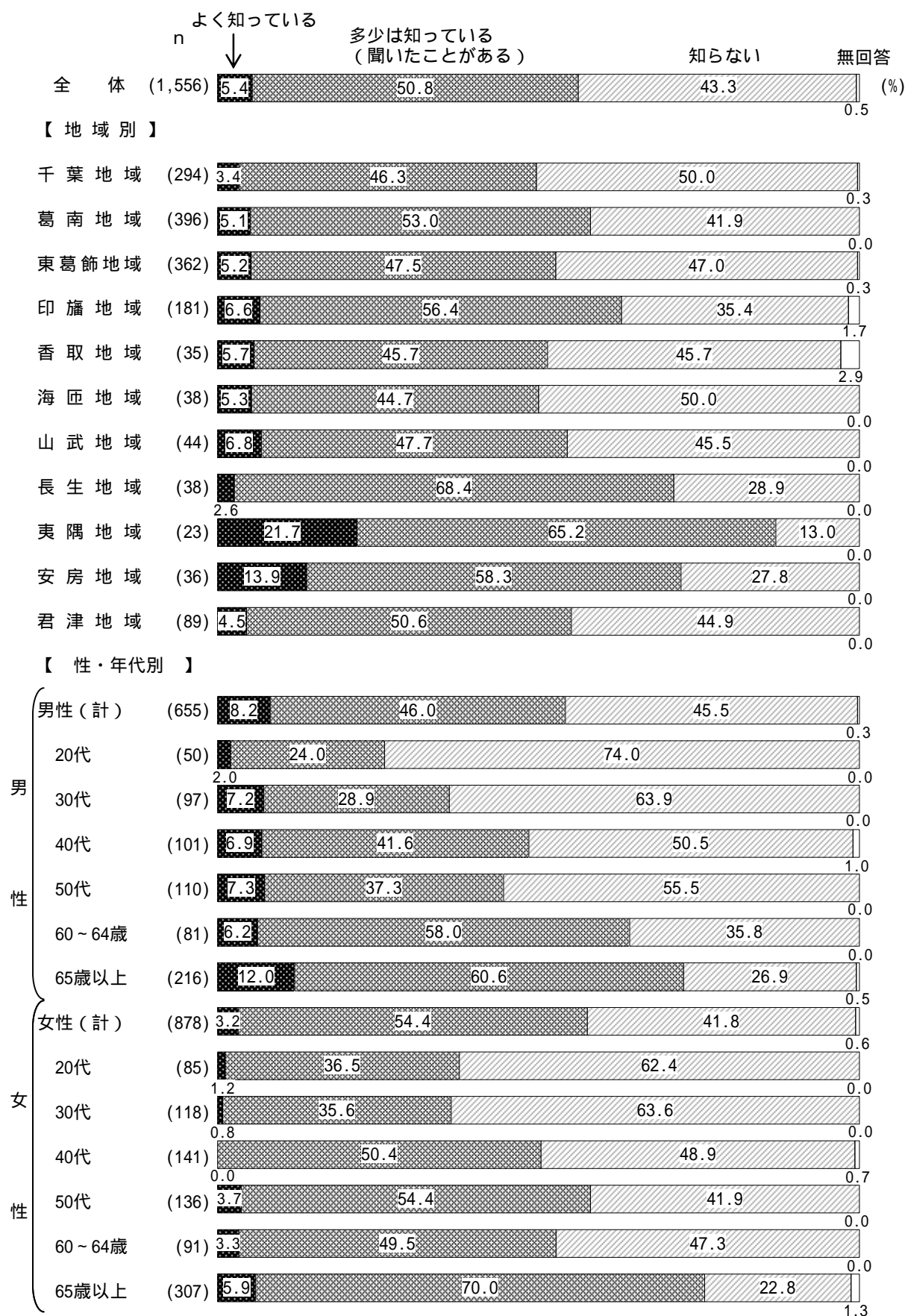
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(87.0%)が約9割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(75.9%)が7割台半ば、男性の65歳以上(72.7%)が7割を超えて高くなっている。(図表1 - 23)

<図表1 - 23> 市民活動団体の活動の認知度 / 地域別、性・年代別



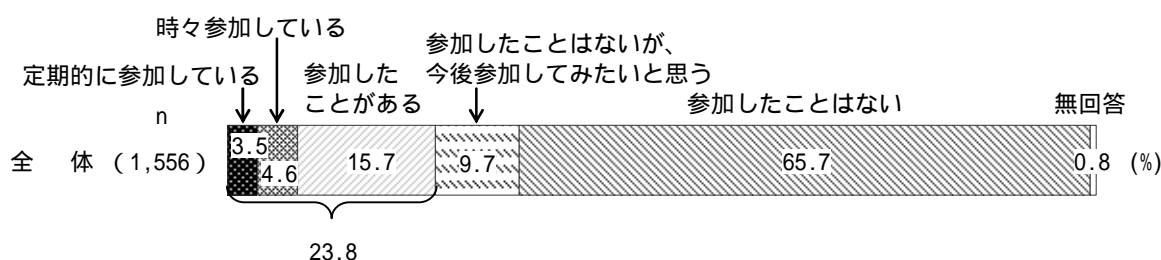
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

「参加したことはない」は6割台半ば

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(は1つ)

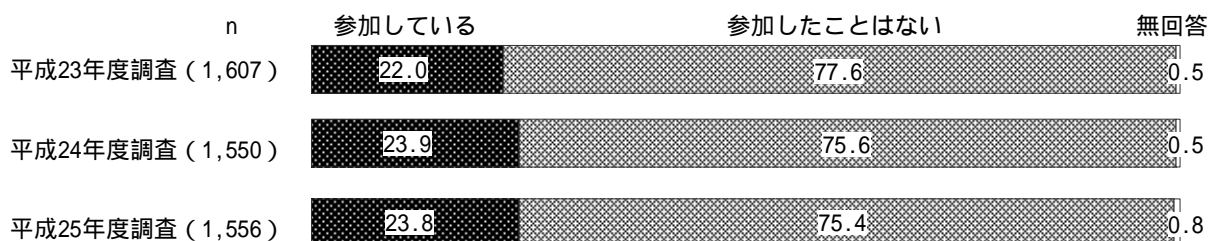
(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

<図表1 - 24> 市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.5%)と「時々参加している」(4.6%)、「参加したことがある」(15.7%)の3つを合わせた『参加している』(23.8%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(9.7%)は約1割、「参加したことはない」(65.7%)は6割台半ばとなっている。(図表1 - 24)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



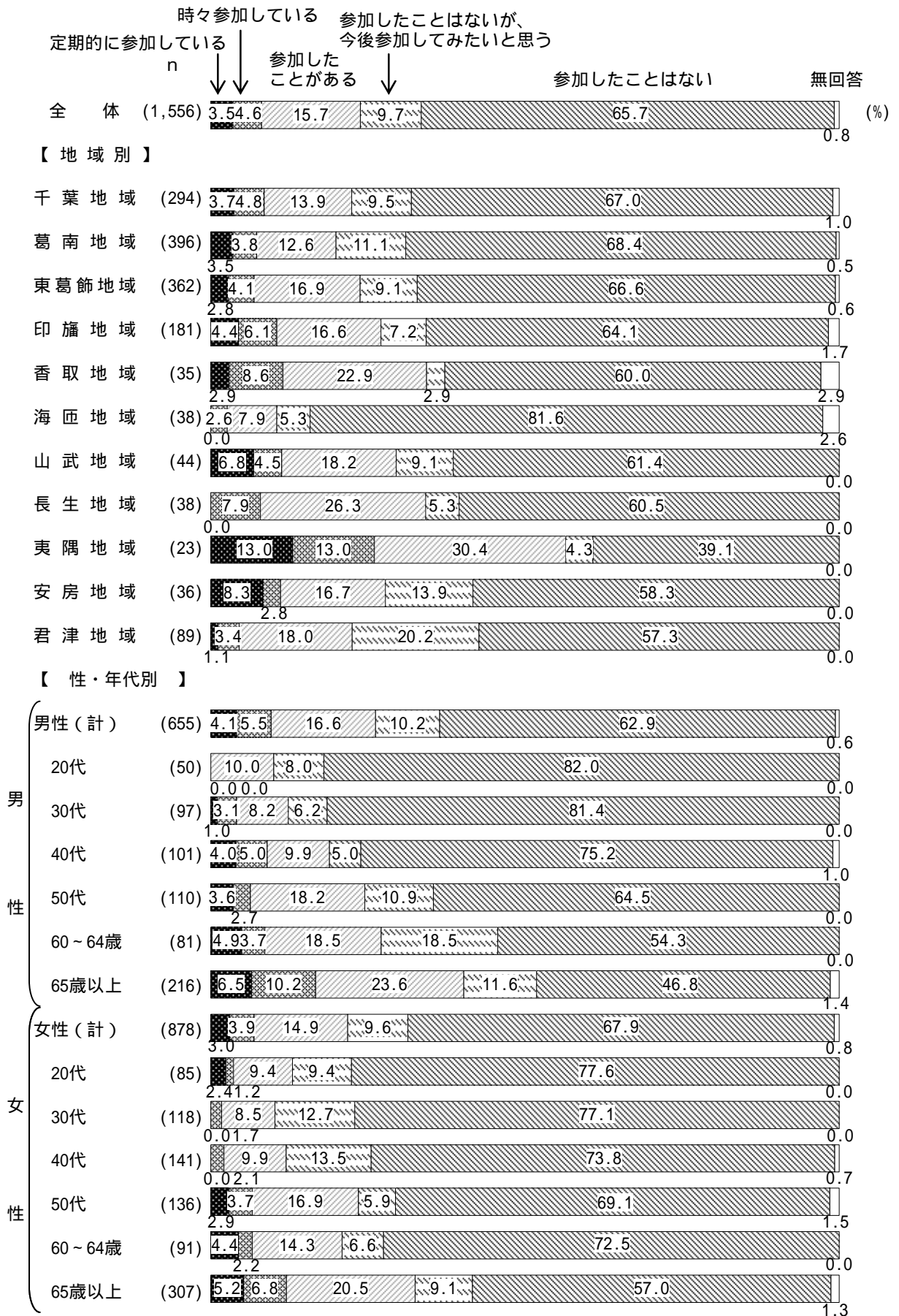
【地域別】

地域別にみると、『参加している』は“夷隅地域”(56.5%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に男性の65歳以上(40.3%)が4割で他の年代に比べて高くなっている。(図表1 - 25)

<図表1 - 25> 市民活動団体の活動への参加経験 / 地域別、性・年代別



(11) ボランティア活動経験

「活動したことがある」は約2割

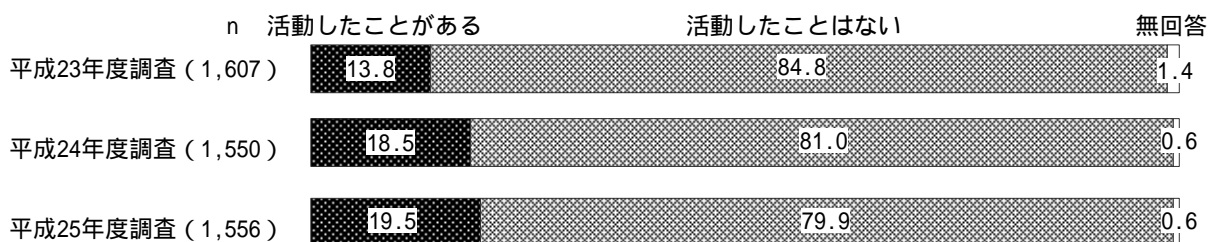
問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。(は1つ)

<図表1 - 26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「活動したことがある」(19.5%)は約2割となっている。一方、「活動したことはない」(79.9%)は約8割となっている。(図表1 - 26)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

地域別にみると、「活動したことがある」は“夷隅地域”(39.1%)が約4割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことがある」は男性の65歳以上(32.4%)が3割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。

(図表1 - 27)

<図表1 - 27> ボランティア活動経験 / 地域別、性・年代別

